

第87回 定期総会議案書

平成30年度 事業報告書

■令和元年6月24日（月）20：00～ ■那覇市医師会館ホール

<式次第>

- 第1 開会宣言
- 第2 出席者報告
- 第3 会長挨拶
- 第4 議事録署名人の指名
- 第5 報 告
 - (1) 平成30年度事業報告に関する件
 - (2) 平成30年度会計監査報告に関する件
- 第6 議 事
 - 第1号議案 平成30年度決算書の承認に関する件
 - 1. 事務局会計
 - 2. 生活習慣病検診センター検診事業会計
 - 3. 生活習慣病検診センター検査事業会計
 - 4. 那覇看護専門学校会計
- 第7 閉 会

一般社団法人 那覇市医師会

目次

I 事務局

1. 総会	1
2. 理事会	1
3. 評議員会	1
4. 会員の動向	2
5. 職員の動向	3
6. 理事会、評議員会、各種委員会	3
7. 平成30年度 顕彰者名簿	10
8. 財務検討委員会	10
9. 広報委員会	10
10. 禁煙推進委員会	11
11. 学校保健運営委員会	11
12. 救急医療対策委員会	13
13. 沖縄周産期ネットワーク協議会	14
14. 病診連携委員会	16
15. 学術・生涯教育委員会	17
16. 糖尿病治療検討委員会	19
17. 那覇市CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議	22
18. 感染症・予防接種委員会について	24
19. うつ病対策検討委員会	25
20. 会員福祉	25

II 検診事業

1. 生産性について	27
2. 生活習慣病検診センター運営委員会	28
3. 生活習慣病検診センター読影委員会	31
4. 那覇市在宅医療・介護連携推進事業	32
5. 那覇地域産業保健センターの活動について	36
6. LHR事業	37

III 検査事業

1. 新管理基準書に基づく品質マネジメント体制強化	37
2. 人材育成の強化	38
3. 検査部運営管理	38
4. 渉外機能の強化	38

IV 看護学校

1. 各種委員会開催状況	39
2. 看護師の養成と資質の向上	40
3. 職員の資質の向上対策	40
4. 臨地実習施設との連携強化並びに外来講師確保	42
5. 教育環境の整備	45
6. 対外広報・地域との連携	46
7. 後援会及び同窓会活動の支援及び里帰りトレーニングの実施	46

V 各種会議状況

1. 第46回那覇市医療協議会	46
2. 第55回九州首市医師会連絡協議会	47
3. 第60回地区医師会連絡協議会	48

I 事務局

1. 総 会

平成30年4月1日から平成31年3月31日までの間に開催した総会は2回で次の通りである。

第85回 那覇市医師会定期総会

日時：平成30年6月25日（月）午後8時00分～

場所：那覇市医師会館 4階ホール

〈総会次第〉

第1 開会宣言

第2 出席者報告

第3 会長挨拶

第4 議事録署名人の指名

第5 報 告

(1) 平成29年度事業報告に関する件

(2) 平成29年度会計監査報告に関する件

第6 議 事

第1号議案 平成29年度決算書の承認に関する件

1. 事務局会計

2. 生活習慣病検診センター検診事業会計

3. 生活習慣病検診センター検査事業会計

4. 那覇看護専門学校会計

第2号議案 役員の選出について

第7 閉 会

第86回 那覇市医師会臨時総会

日時：平成31年3月25日（月）午後8時00分～

場所：那覇市医師会館 4階ホール

〈総会次第〉

第1 開会宣言

第2 出席者報告

第3 会長挨拶

第4 議事録署名人の指名

第5 議 事

(1) 第1号議案 2019年度事業計画（案）承認に関する件

(2) 第2号議案 2019年度収支予算（案）承認に関する件

1. 事務局会計

2. 生活習慣病検診センター検診事業会計

3. 生活習慣病検診センター検査事業会計

4. 那覇看護専門学校会計

第6 閉 会

2. 理事会 記録の一覧表は巻末に一括掲載

3. 評議員会 記録の一覧表は巻末に一括掲載

4. 会員の動向

平成31年3月31日現在における本会員数は、506名である。入会・退会会員は次のとおりである。

区 分	会 員 数	構 成 比
A 会 員	234名	46.2%
B 会 員	272名	53.8%
合 計	506名	100%

入会会員（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

氏 名	病 医 院 名	倉 区分	入 会 日
尾野 敏郎	ひまわりクリニック	A	30/04/01
當間 智	おもろまちメディカルセンター	B	04/01
久田 友治	沖繩赤十字血液センター	B	04/01
上原 英且	大浜第一病院	B	04/01
我部 敦	大浜第一病院	B	04/01
平沼 進	大浜第一病院	B	04/01
仲宗根 卓	沖繩協同病院	B	04/01
竹内 幸治	沖繩協同病院	B	04/01
小渡 大幹	沖繩協同病院	B	04/01
川越 淳平	沖繩協同病院	B	04/01
里村 英章	沖繩協同病院	B	04/01
松田 隆寛	沖繩協同病院	B	04/01
上地 ひかる	沖繩協同病院	B	04/01
小橋川 美紀	沖繩協同病院	B	04/01
大方 雄司	沖繩協同病院	B	04/01
石田 晶子	沖繩協同病院	B	04/01
永塚 大樹	沖繩協同病院	B	04/01
岩政 輝男	メディカルプラザ大道中央	B	04/01
譜久原 夏	沖繩南部療育医療センター	B	04/01
日暮 悠璃	沖繩赤十字病院	B	04/01
岩島 未奈	沖繩協同病院	B	05/01
檜田 祐輔	沖繩協同病院	B	05/01
古内 重雄	ゆめクリニック	A	06/01
島袋 洋	沖繩セントラル病院	B	06/01
樋口 佳代子	沖繩協同病院	B	07/01
仲里 博恵	沖繩協同病院	B	09/01
仲田 聡子	オリブ山病院	B	09/01
豊見山 義隆	田崎病院	B	10/01
守屋 円	沖繩セントラル病院	B	11/01
古波蔵 匡志	天久台病院	B	31/01/01
畑 春香	沖繩協同病院	B	01/01
大城 隆	自宅会員	B	02/01
前原 信人	のぶ内科クリニック	A	02/04
上原 和博	協同にじクリニック	A	02/18

退会会員（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

氏 名	病 医 院 名	倉 区分	退 会 日
與儀 喜邦	首里協同クリニック	B	30/03/31
外間 雪野	沖繩赤十字病院	B	05/31
仲本 雅哉	沖繩赤十字病院	B	06/22
稲田 隆司	ひまわりクリニック	B	06/30
與那嶺 睦	ライフケアクリニック那覇	B	07/31
辻田 敏	辻田労働衛生コンサル タント・産業医事務所	B	08/31
花城 徹	おもろまちメディカルセンター	B	08/31
原 實	自宅会員（逝去）	B	10/16
嘉陽 宗吉	自宅会員（逝去）	B	10/22
中村 紀彦	オリブ山病院	B	10/31
金城 和男	自宅会員	B	11/02
下地 忠夫	下地内科クリニック（逝去）	A	11/19
山城 栄津子	当山美容形成外科	B	12/31
島袋 洋	沖繩セントラル病院	B	12/31
大城 義人	大浜第一病院	B	12/31
金城 勤也	沖繩協同病院	B	12/31
比嘉 大	沖繩協同病院	B	12/31
八巻 文貴	沖繩協同病院	B	31/01/14
内之倉 弘和	沖繩協同病院	B	03/31
豊里 一郎	沖繩協同病院	B	03/31
中村 一希	沖繩協同病院	B	03/31
亀山 泰樹	沖繩協同病院	B	03/31
大城 綾乃	沖繩協同病院	B	03/31
知念 央恵	沖繩協同病院	B	03/31
宮崎 尚子	沖繩協同病院	B	03/31
佐藤 亜美	沖繩協同病院	B	03/31
新城 愛	沖繩協同病院	B	03/31
檜田 祐輔	沖繩協同病院	B	03/31
野崎 由迅	沖繩協同病院	B	03/31
佐土原 洋平	沖繩協同病院	B	03/31
吉川 一洋	沖繩協同病院	B	03/31
長間 将樹	沖繩協同病院	B	03/31
新田 宗秋	沖繩協同病院	B	03/31
宮本 齊	沖繩協同病院	B	03/31
豊見山 義隆	田崎病院	B	03/31

5. 職員の動向

平成31年3月31日現在における本会職員数は116名となっている。
職種別職員数は次表のとおりである。

区 分	職 員 数			備 考
	合 計	正 職 員	臨時パート等	
医 療 職	37	13	24	
(男子)	(5)	(4)	(1)	
(女子)	(32)	(9)	(23)	
教 育 職	23	22	1	
(男子)	(4)	(4)	(0)	
(女子)	(19)	(18)	(1)	
事 務 職	51	29	22	
(男子)	(17)	(16)	(1)	
(女子)	(34)	(13)	(21)	
渉 外 職	5	4	1	
(男子)	(5)	(4)	(1)	
(女子)	(0)	(0)	(0)	
合 計	116	68	48	
(男子)	(31)	(28)	(3)	
(女子)	(85)	(40)	(45)	

6. 理事会、評議員会、各種委員会

(1) 理事・監事

(平成30年6月25日～令和2年6月22日)

役 職	氏 名	施 設 名	電 話	F A X	所 属 班
会 長	山 城 千 秋	山城整形外科眼科医院	836-1100	831-7761	与 儀
副 会 長	友 利 博 朗	八重洲クリニック	861-8618	861-9857	若 狭
副 会 長	玉 井 修	曙クリニック	863-5858	863-5870	崇 元 寺
常任理事	田 名 毅	首里城下町クリニック第一	885-5000	885-5007	首里・松川
理 事	白 井 和 美	白井クリニック	833-6500	833-6500	与 儀
	喜 納 美 津 男	きなクリニック	885-4976	885-4978	首里・松川
	宮 城 政 剛	新川クリニック	863-1511	863-1493	牧 志
	糸 数 功	糸数病院	863-4103	869-1551	崇 元 寺
	真 志 取 浩 貴	ましどり整形外科	854-6215	854-6215	与 儀
	外 間 英 之	外間眼科医院	867-8100	867-8101	崇 元 寺
	長 嶺 勝	ライフケアクリニック那覇	832-1721	832-1723	久 茂 地
	玉 城 研 太 朗	那覇西クリニック	858-5557	858-5552	小 禄
	嘉 数 朗	おもろまちメディカルセンター	867-2116	861-2398	崇 元 寺
監 事	大 見 洋 二	自宅会員	861-3233	861-3233	崇 元 寺
	仲 本 昌 一	仲本内科	860-1835	860-1869	崇 元 寺
	久 田 均	脳外科クリニックくだ	834-2700	834-2702	開 南

(2) 評議員

総会選出

(平成30年6月25日~令和2年6月22日)

班選出

(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

	氏名	班名		氏名	班名		氏名	班名
1	議長 知念 弘	崇元寺	1	副議長 久田 均	開南	10	長崎文江	美栄橋
						11	友利俊一	与儀
2	長嶺信夫	小禄	2	仲吉朝史	安里	12	大城康彦	寄宮
3	伊集守政	若狭	3	武村盛信	小禄	13	真栄田篤彦	若狭
4	玉城信光	安里	4	新城 憲	久茂地			
5	伊志嶺 隆	久茂地	5	大城 聡	首里・松川			
6	伊泊広二	与儀	6	千葉敦子	崇元寺			
7	山本 明	安里	7	嶺井定一	壺屋			
8	崎原永辰	若狭		安里 哲時				
9	又吉嘉伸	崇元寺	8	仲原靖夫	牧志			
10	當山拓也	久茂地	9	真栄城修二	松尾			

(3) 沖縄県医師会代議員

(平成30年6月25日~令和2年6月22日)

1	長嶺信夫	8	真志取浩貴
2	山城千秋	9	長嶺 勝
3	友利博朗	10	長嶺信治
4	玉井 修	11	嘉数 朗
5	宮城政剛	12	當山拓也
6	糸数 功	13	安里 良
7	外間英之		

(4) 沖縄県医師連盟執行委員那覇市支部

(平成30年6月25日~令和2年6月22日)

1	山城千秋	10	岸本幸治
2	友利博朗	11	大見洋二
3	玉井 修	12	仲本昌一
4	喜納美津男	13	知念 弘
5	宮城政剛	14	山本 明
6	糸数 功	15	赤嶺和成
7	真志取浩貴	16	崎原永辰
8	外間英之	17	嘉数 朗
9	長嶺 勝		

(5) 沖縄県医師会各種委員会委員

(平成30年4月1日～令和2年3月31日)

委 員 会 名	委 員 名
・医療保険研究委員会	大城康彦 親川幸信
・医療関係者対策委員会	山城千秋
・医事紛争処理委員会	外間英之
・母体保護法指定医師審査委員会	—
・生涯学習委員会	宮城政剛
・産業医委員会	白井和美
・広報委員会	玉井 修 真志取浩貴
・定款等諸規定検討委員会	友利博朗
・地域医療委員会	長嶺 勝
・情報システム委員会	玉井 修
・福祉・経営委員会	友利博朗
・臨床検査精度管理委員会	友利博朗
・医療安全対策委員会委員	外間英之
・地域医療保健対策委員会	玉城研太郎
・会員の倫理向上委員会	友利博朗
・会館運営委員会	玉井 修
・地域医療臨床研修委員会	糸数 功
・会費検討委員会	友利博朗
・治験審査委員会	玉城研太郎
・災害医療委員会	宮城 淳 山代 寛 佐々木秀章 岩田雅史
・地域包括ケア対策委員会	喜納美津男
・医療事故調査支援委員会	—

(6) 沖縄県医師会各会役員及び議員

(平成30年4月1日～令和2年3月31日)

委 員 会 名	委 員 名
・学校医部会	山城千秋 白井和美 大見謝恒人
・勤務医部会	嘉数 朗 宮城 淳
・女性医師部会	新垣紀子 崎原永作
・労災部会	新垣 寛 島袋博之 大城 淳 安里 良
・病院部会	新垣 哲 平良直樹
・警察医部会	山城千秋 山城雄二
・医師国民健康保険組合	田名 毅 萩原啓介
・医師国民健康保険組合会	糸数 健 山城千秋 友利博朗 国吉 勲 屋宜 晃 石川哲夫 久田 均 玉井 修 仲本昌一 喜納美津男 外間英之
・医師協同組合	田名 毅 白井和美 渡久山洋子 玉城研太郎

(7) 各種委員会名簿

(平成30年7月1日～令和2年6月30日)

財務検討委員会		定款・諸規程改正 検討委員会		医の倫理向上 委員会 (医の倫理、医療安全、医事紛争)		学校保健運営 委員会		那覇看護専門学校 入学卒業等認定 委員会	
担当理事： 山城 千秋 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 山城 千秋 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 山城 千秋 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 白井 和美 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 糸数 功 副担当理事： 玉井 修	
1	玉井 修	1	友寄 英毅	1	新里 越郎	1	伊志嶺 恒洋	1	山城 千秋
2	田名 毅	2	国吉 勲	2	川平 昌秀	2	崎原 永辰	2	教職員
3	大見 洋二	3	玉城 信光	3	友寄 英毅	3	上原 弘行		
4	仲本 昌一	4	伊志嶺 隆			4	比嘉 睦		
5	久田 均	5				5	安田 忍		
6	糸数 功					6	糸数 功之		
7	玉城 研太郎					7	外間 英之		

・那覇看護専門 学校運営委員会 ・学校評価委員会		生活習慣病検診 センター運営 委員会		学術・生涯教育 委員会		広報委員会		禁煙推進委員会	
担当理事： 糸数 功 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 玉城 研太郎 副担当理事： 糸数 功		担当理事： 宮城 政剛 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 真志取 浩貴 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 嘉数 朗 副担当理事： 喜納 美津男	
1	伊志嶺 隆	1	崎原 永辰	1	喜屋武 邦雄	1	白井 和美	1	長嶺 信夫
2	沖山 光則	2	又吉 亮二	2	兼島 洋	2	新里 仁哲	2	仲本 昌一
3	平良 勝己	3	豊田 和正	3	勝連 英雄	3	有銘 一朗	3	上原 弘行
4	山内 昌喜	4	山本 明	4	新里 仁哲	4	嘉数 朗	4	山代 寛
5	山城 千秋	5	上原 協	5	仲里 巖	5	間仁田 守	5	山根 邦夫
6	友利 博朗	6	平良 直人	6	喜納 美津男	6	奥濱 幸博	6	高木 啓孝
7	田名 毅	7	比嘉 睦			7	赤嶺 盛和		
8	玉城 研太郎	8	真栄城 修二			8	田場 桂子		
		9	山城 千秋						

病診連携委員会		救急医療対策委員会		産業保健委員会		検査部運営協議会		裁定委員会	
担当理事： 玉井 修 副担当理事： 友利 博朗 宮城 淳		担当理事： 宮城 淳 副担当理事： 玉井 修		担当理事： 白井 和美 副担当理事： 友利 博朗		担当理事： 友利 博朗 副担当理事： 宮城 政剛		担当理事： 山城 千秋	
1	大 城 康 一	1	新 垣 敏 幸	1	宮 里 雅 志	1	山 城 千 秋	1	糸 数 健
2	宮 城 雅 也	2	伊 泊 広 二	2	山 城 千 秋	2	玉 井 修	2	岸 本 幸 治
3	新 垣 均 邦	3	金 井 透 章			3	崎 原 永 辰	3	新 里 越 郎
4	仲 吉 朝 邦	4	佐々木 秀 章					4	友 寄 英 毅
5	永 山 隆 盛	5	高江洲 良 一					5	伊 集 守 政
6	前 田 武 俊	6	寺 田 泰 蔵						
7	平 良 直 樹	7	仲 地 紀 茂						
8	伊 泊 広 二	8	仲 本 昌 一						
9	宮 城 淳	9	林 峰 栄						
10	山 本 明	10	真栄田 篤 彦						
11	嘉 数 朗								
12	山 根 邦 夫								
13	山 城 千 秋								
14	宮 城 政 剛								
15	喜 納 美 津 男								

チャリティー写真展 実行委員会		糖尿病治療検討 委員会		うつ病対策検討 委員会		LHR 事業推進 委員会		感染症・予防接種 委員会	
担当理事： 外間 英之 副担当理事： 糸数 功		担当理事： 田名 毅		担当理事： 玉井 修		担当理事： 玉城 研太郎		担当理事： 宮城 政剛 副担当理事： 白井 和美	
1	宮 城 英 雅	1	湧 上 民 雄	1	田 名 毅	1	崎 原 永 辰	1	糸 数 修
2	仲 本 昌 一	2	和 気 亨	2	伊志嶺 隆	2	山 城 千 秋	2	国 吉 賢
3	豊見山 直 樹	3	長 田 光 司	3	井 上 幸 代	3	大 嶺 靖	3	玉那覇 康一郎
4	真志取 浩 貴	4	石 川 修 作	4	平 良 直 樹	4	新 崎 修	4	仲 本 昌 一
		5	砂 川 優	5	長 崎 文 江	5	仲 程 正 哲	5	二 木 良 夫
				6	横 田 泉	6	屋 良 朝 雄	6	宮 城 聡
				7	長 岡 研太郎	7	知 念 徹	7	白 井 和 美
						8	末 吉 常 邦	8	友 利 博 朗
						9	清 水 義 博		
						10	志 茂 英 治		
						11	神 谷 順 博		
						12	新 里 博		
						13	諸見里 真		

那覇市在宅医療・ 介護連携支援ネット ワーク協議会			在宅療養支援診療所 連絡会			医療・介護連携運営 委員会 (H30.8月発足)			那覇市 CKD 病診 連携推進会議		
担当理事： 長嶺 勝 副担当理事： 喜納 美津男			担当理事： 喜納 美津男 副担当理事： 長嶺 勝			担当理事： 喜納 美津男 副担当理事： 長嶺 勝			担当理事： 田名 毅		
1	玉井	修	1	山城	秋	1	玉井	修	1	宮良	忠
2	上間	一	2	玉井	修	2	崎原	永	2	糸数	昌
3	嘉数	朗	3	嘉数	朗	3	嘉数	朗	3	仲宗根	正
4	外間	浩	4	山根	邦				4	比嘉	啓
5	仲宗根	正	5	又吉	嘉				5	真栄城	修
6	高良	孔	6	嘉陽	信				6	屋宜	宣
7	仲宗根	輝	7	宮城	聡				7	内嶺	史
8	宮城	愛	8	上間	進				8	谷川	聖
9	笠原	大	9	新垣	安				9	宮城	輝
10	吉田	陽	10	伊志嶺	恒						
11	新垣	哲	11	甲口	知						
12	宮城	能	12	上間	一						
13	末吉	淳	13	石田	吉						
14	末吉	珠	14	屋宜	亮						
15	與那嶺	康	15	新里	盛						
16	佐久川	伊									

(8) 那覇市各種協議会事業

那覇市関係	委員会名	職名	委員氏名
社会福祉関係	那覇市民福祉まつり実行委員会	実行委員	山城 千秋
	那覇市社会福祉大会	運営委員	山城 千秋
	那覇市社会福祉審議会	臨時委員	喜納美津男
保健衛生関係	那覇市防災会議幹事委員会	委員	宮城 淳
	那覇市国民健康保険運営協議会	委員	久手堅憲史
		委員	新垣 紀子
		委員	宮城 政剛
	国際通り夏祭り実行委員会	委員	山城 千秋
	那覇市福祉事務所嘱託医 (保護課・障害福祉課)	内科担当医師	国吉 勲
		整形外科医師	山城 千秋
		精神科医師	上地 弘一
	那覇市交通安全市民運動推進協議会	委員	山城 千秋
	那覇市健康づくり推進協議会	副会長	山城 千秋
	那覇市公務災害補償等審査会	委員	真志取浩貴
	那覇市公務災害補償等認定委員会	委員	伊志嶺 隆
		委員	長崎 文江
委員		石川 恒夫	
那覇市保健福祉医療審議会	委員	喜納美津男	
特別障害者手当等認定審査会	委員	外間 英之	
地域包括支援センター運営協議会	委員	喜納美津男	
那覇市 CKD 病診連携推進会議	委員	田名 毅	
那覇市国民保護協議会	委員	宮城 淳	

(9) 那覇市保健所関係

保健衛生関係	那覇市保健所運営協議会	委員	山城 千秋
	那覇市自殺対策関係機関連絡会議 (外部会議)	委員	玉井 修
	南部地区保健医療協議会	会長	山城 千秋
	南部地区地域医療圏域推進会議	委員	田名 毅
	那覇市新型インフルエンザ対策有識者会議	委員	宮城 政剛
	那覇市予防接種健康被害調査委員会	委員	宮城 政剛

(10) 労働局関係委員会

保健衛生関係	(社) 沖縄県労働基準協会	理事	白井 和美
--------	---------------	----	-------

(11) 沖縄県関係

保健衛生関係	沖縄県食育推進協議会	委員	崎原 永辰
	かかりつけ医等心の健康対応力向上 研修企画委員会	委員	玉井 修
介護関係	介護給付費審査委員	委員	宮城 政剛
		委員	平良 朝秀
		委員	宮城 聡

7. 平成 30 年度 顕彰者名簿（1 月～12 月）

月 日	受賞内容	受賞者（班名）	
2月 8日	沖縄県学校保健功労者表彰	国吉 純郎	小禄病院（小禄班）
5月10日	那覇地区学校保健功労者表彰	大城 康彦	こくら台ハートクリニック（寄宮班）
10月25日	学校保健及び学校安全表彰における文部科学大臣表彰	大田 征夫	大田整形外科医院（小禄班）
10月27日	全国学校保健・学校医大会における日本医師会長表彰	銘苺 朝規	大原医院（寄宮班）
11月 1日	日本医師会最高優功賞	岸本 幸治	岸本外科医院（首里・松川班）
11月 2日	沖縄県公衆衛生大会における沖縄県知事賞	我那覇康彦	がなは医院（壺屋班）
11月12日	秋の叙勲 瑞宝双光章	新垣 武三	鏡原外科医院（小禄班）

8. 財務検討委員会

委員会を2回開催し、事業計画、予算、決算、医師会運営に関する事項について協議を重ねてきた。

- (1) 平成 29 年度各会計決算、事業報告の審議
- (2) 平成 31 年度各会計予算、事業計画の審議

9. 広報委員会

委員会を4回開催し、主に下記の事項について協議し実施した。

(1) 医師会報

那覇市医師会報を春季号・夏季号・秋季号・新春号として4回発行した。今年度も会員諸氏のご協力もあり、より充実した会報を発行することができた。ご執筆くださった先生方に心より御礼申し上げます。なお、会報各号の詳細な内容は、紙面の都合上、勝手ながら割愛させていただきます。

(2) 医師会ニュース

那覇市医師会ニュースは第1号を平成6年3月29日に発行し、迅速な情報提供媒体として、積極的にタイムリーな情報を提供してきた。平成30年度は33回発行し、理事会速報、評議員会報告、総会報告、その他会員に有用なタイムリーな情報（学童定期健康診断後のアンケート集計結果報告、重大ニュース、医療廃棄物処理施設の視察報告）など、通算第1026号まで発行されている（平成31年3月末時点）。今後も適時発行していきたい。なお、節目となった第1000号では、これまでの広報担当理事に「第1000号によせて」を執筆いただき、特別号として発行した。

(3) 沖縄県医師会対外広報への協力

沖縄県医師会が担当している県内2紙の医学情報欄、「命ぐすい耳ぐすい」（沖縄タイムス社）、「ドクターのゆんたくひんたく」（琉球新報社）の原稿について、多くの先生方にご投稿いただいた。ご執筆くださった先生方に心より御礼申し上げます。今後ともご協力の程、宜しく申し上げます。

10. 禁煙推進委員会

平成 30 年 11 月に国際通りトランジットモール（歩行者優先通り）に合わせ“禁煙”を PR した。今回は、企業団体、一般市民に呼びかけ参加者が 80 名とこれまでの最多となった。

今後も続けて参りますので会員のご参加を宜しく願います。

また、2019 年度は 2 年に一度の那覇市医師会所属の医療機関で喫煙状況調査を行いますのでご協力の程、宜しく願います。

11. 学校保健運営委員会

(1) 定期健康診断前の講習会

日 時：平成 30 年 5 月 16 日（水） 午後 7 時 30 分～

会 場：那覇市医師会・4 階ホール

1. 開会

2. 予診票の統一について・・・上山中学校 養護教諭 外間尚子 先生

3. 平成 29 年度学校検診での 2 次・3 次検診の受診状況に係る情報提供

・・・担当理事 白井和美 先生

4. 特別講演

「小児生活習慣病のスクリーニングと早期予防

～学校・かかりつけ医・専門医療機関それぞれの役割～

講師：那覇市立病院 小児科部長 渡久地 鈴香 先生

5. 平成 29 年度の健診結果の報告

6. 平成 29 年度の小児生活習慣病予防検診結果の報告

7. 閉会

(2) 小・中学校定期健康診断

これまで通り多くの会員のご協力を得て、下記とおり健診を実施した。

小学校・・・6 月 6 日（水）～ 6 月 8 日（金）

中学校・・・5 月 30 日（水）～ 6 月 1 日（金）

(3) 高校生の定期健康診断への医師派遣

市内 7 つの高等学校より医師派遣依頼を受け医師を派遣した。（医師延べ数 82 名）

(4) 学校医紹介（平成 30 年度）

【小学校 校医協力会員】：36 名

安謝小学校：玉井 修

城東小学校：天久 憲治

城北小学校：伊波 剛彦

城西小学校：仲吉 朝史

城南小学校：砂川 憲政

真嘉比小学校：金城 和夫

泊 小学校：上原 弘行

大道小学校：山本 明

松川小学校：国吉 勲

識名小学校：喜久村徳清

壺屋小学校：真栄城徳秀

若狭小学校：豊田 和正

神原小学校：新垣 紀子

真和志小学校：吉田 馨

与儀小学校：山城 雄二

城岳小学校：山城 千秋

天妃小学校：真栄田篤彦

開南小学校：宮城 政剛

垣花小学校：玉城研太郎

小禄小学校：大田 征夫

高良小学校：比嘉 睦

宇栄原小学校：大浦 孝

松島小学校：島袋 博之

古蔵小学校：大城 康彦

上間小学校：上原 正照

大名小学校：玉城 仁

石嶺小学校：森 叶

仲井真小学校：長岡研太郎

金城小学校：武村 盛信

曙 小学校：高良 吉広

小禄南小学校：玻座真博明

真地小学校：久手堅憲史

さつき小学校：上原 剛

銘苅小学校：宮城 聡

天久小学校：玉那覇康一郎

那覇小学校：仲地 紀之

【中学校 校医協力会員】：17 名

安岡中学校：仲本 昌一

首里中学校：金城 盛男

真和志中学校：浦崎 貴志

石田中学校：白井 和美

那覇中学校：友利 博朗

上山中学校：仲原 靖夫

神原中学校：真志取 浩貴

寄宮中学校：銘苅 朝規

古蔵中学校：伊志嶺 恒洋

小禄中学校：寺田 幸平

松島中学校：前濱 宏之

城北中学校：金井 透

鏡原中学校：国吉 純郎

松城中学校：我那覇 安彦

仲井真中学校：長田 清

金城中学校：藤原 英士

石嶺中学校：田名 毅

【高等学校 校医協力会員】：12名

那覇高校：平良 朝秀 首里高校：田名 毅 真和志高校：新垣 敏幸
泊 高校：上里 忠正 那覇商業高校：大島 教子 那覇国際高校：大見 洋二
沖縄工業高校：仲宗根 和則 小禄高校：新垣 武三 首里東高校：末吉 利行
那覇西高校：金城 幸博 那覇特別支援学校：當山 潤・我喜屋 宗雄

【私立中高等学校】：2名

沖縄尚学中高等学校：嘉数 昇康 沖縄興南中高等学校：崎原 永啓

(5) 学校心臓検診班（心電図）

【心臓検診班】（12名）

内原 栄輝・大城 康彦・我那覇 安彦・白井 和美・平良 直樹・武村 盛信・友利 博朗・
友利 正行・真栄田 篤彦・中田 円仁・伊敷 哲也・横矢 隆宏

(6) 第1回 那覇市医師会 学校保健事務連絡会

日 時：平成30年10月10日（水）午後4時30分～

場 所：那覇市医師会 医師会ホール4階

参加者：那覇市教育委員会、養護教諭研究会、那覇市医師会

【報告事項】

1. 平成30年度 定期健診後アンケート調査結果報告
2. 保健調査票について
3. その他（手足口病の出席停止について）

(7) 平成30年度 那覇市学校保健事務連絡会

日 時：平成31年1月30日（水）午後6時～

場 所：那覇市教育委員会・那覇市役所11階会議室

参加者：那覇市教育委員会、養護教諭研究会、学校薬剤師会、南部地区歯科医師会、
那覇市医師会

【議 題】

1. 初診時選定療養費について
2. 検診データの情報提供について
3. 粉じん測定について
4. こども園について
5. タクシーチケット（内科検診）について
6. 内科検診（耳鼻科検診）について

(8) 第1回 学校保健運営委員会

日 時：平成31年3月11日（月）午後7時30分～

場 所：那覇市医師会 会員サロン4階

【報告事項】

1. 平成30年度 那覇市学校保健事務連絡会について

【協議事項】

1. 平成31年度 学童定期健診健診前講習会について
2. 那覇市医療協議会議題について

(9) 那覇市「小児生活習慣病予防検診事業」の実施について

(1) 検診対象者：4年生…3,240名（男：1,650名・女：1,590名）

対 象 者：肥満度20%以上…302名（男：168名 女：134名）

検診申込み：111名

※全体に占める肥満児童の割合：9.32%

- (2) 採血日程 ※「採血」と「個人面談」のセットで受診希望者を募った。
 採血：(1) 7月22日(日) 午前9時～午前11時 申込者61名 受診者67名
 (2) 7月28日(土) 午前9時～午前11時 申込者44名 受診者24名
 (3) 漏れ者採血：7月23日～7月24日 受診者…6名
 ☆総合計：97名

※検査項目

問診・血圧測定・身体計測・腹囲測定
 血液一般検査(赤血球・白血球・ヘマトクリット・血色素量・血小板数)
 血液生化学検査(血清蛋白・中性脂肪・LDL-Cho・HDL-Cho・GOT・GPT・ γ -GTP)
 空腹時血糖・HbA1c・尿酸

- (3) 血液検査等後の個別指導…(医師面談・管理栄養士面談)
 日程：8月18日(土) 午後2時～4時 受診者36名
 医師：4名
 ①新垣敏行(新垣クリニック)
 ②白井和美(白井クリニック)
 ③大城康彦(こくら台ハートクリニック)
 ④大見 剛(かいせいクリニック)
 管理栄養士：6名(学校栄養士)

- 日程：8月19日(日) 午前9時～11時 受診者43名
 医師：5名
 ①新垣敏行(新垣クリニック)
 ②白井和美(白井クリニック)
 ③大城康彦(こくら台ハートクリニック)
 ④伊波剛彦(光輪会 沖縄クリニック)
 ⑤友利博朗(八重洲クリニック)
 管理栄養士：6名(学校栄養士)

12. 救急医療対策委員会

- (1) 平成30年度 沖縄県総合防災訓練

日時：平成30年9月1日(土) 10時00分～15時00分

主会場：奥武山公園(那覇市) ※那覇市総合防災訓練と合同開催

サブ会場：南城市役所、その他市町村会場

目的：災害対策基本法48条及び沖縄県・市町村の地域防災計画に基づき、大規模地震及び津波発生を想定し、防災関係機関及び地域住民の参加のもと、災害発生時における連携や対応状況を検証するとともに、広く県民の防災意識の高揚を図る。

- * 防災関係機関と連携した地域の救援体制、受援体制の整備
- * 自主防災組織や消防団、地域住民との協働による地域防災力の向上
- * 県、市町村等の災害対策本部機能の強化
- * ライフライン協定機関等との有機的な連携

- (2) 平成30年度 那覇空港航空機事故対処図上訓練

日時：平成30年10月18日(木) 14時00分～16時00分

会場：那覇空港事務所1階会議室

想定：空港北側からの着陸進入中に滑走路手前約200メートルの海上において墜落B737-800(乗員、乗客150名程度)

- * 事故機までの接近方法
- * 海上における救助方法
- * 揚陸ポイントの設定
- * トリアージエリアや救護所の設置展開
- * 医療機関への搬送方法

(3) 平成 30 年度 那覇空港航空機事故対処総合訓練

日 時：平成 30 年 11 月 22 日 (木) 14 時 00 分～16 時 00 分

会 場：那覇空港西側台風時避難用エプロン

想 定：那覇空港へ飛行する ABC 航空 2018 便、B-737 型機は、乗客・乗員 50 名を乗せ、滑走路 18 から着陸寸前、風の影響で滑走路に右翼側が接触し、滑走路を逸脱した。その際、No.2 エンジンが炎上し、誘導路 W-4 (グリッドマップ J-6) の緑地帯で機体は停止した。なお、搭乗者の脱出は、機体停止後に行われたが、火災は胴体付近まで延焼し多数の負傷者が出た。

参加者：6 名 (医師：1 名 看護師：3 名 事務局：2 名)

(4) 平成 30 年度 沖縄県国民保護共同訓練

【実働訓練】

日 時：平成 31 年 1 月 24 日 (木) 14:00～16:00

場 所：那覇市新都心公園

【図上訓練】

日 時：平成 31 年 1 月 25 日 (金) 14:00～16:30

場 所：沖縄県庁及び那覇市役所

目 的：国民保護法、沖縄県国民保護計画及び那覇市国民保護計画に基づき、大規模テロの発生を想定して、実際に関係機関が保有している装備資機材を活用し、初動対応や被災者の救出・救護、住民避難などの訓練を実地に行い、関係機関相互の機能確認や連携強化など、国民保護に関する対処能力の向上を図るとともに、県民への啓発を図る。

(1) 事案発生時の初動措置の確認及び検証

(2) 国民保護対策本部の機能、業務の確認及び組織体制の検証

(3) 関係機関相互の庸報共有と連携強化

(4) 国民保護計画の検証

想 定：那覇新都心公園でのイベントにおいて、化学剤 (サリン) 散布事案の発生により、消防、警察、自衛隊、医療機関による救出、救助、救護活動等を実施。【第 1 事案】

また、公園隣接の県立博物館・美術館での爆発物発見により、来館者・住民避難誘導を実施。【第 2 事案】

13. 沖縄周産期ネットワーク協議会

平成 8 年 8 月にスタートした沖縄周産期ネットワーク協議会も 22 年目を迎え、現在では約 50 カ所の医療機関が会員となり、これまで産婦人科医や新生児科医で組織を構築してきたが、「医療法等の一部を改正する法律案に対する附帯決議」の中で『助産所を周産期医療ネットワーク、周産期医療協議会への参加・連携体制の構築』が盛り込まれ、慎重に検討を重ね、今年度より県内 4 施設の「助産所」の同ネットワーク協議会への参画を了承した。

今年度より「周産期医療整備計画」が『第 7 次医療計画』に初めて盛り込まれることになり、当ネットワーク協議会より 3 名の委員が参画している。周産期医療がこれまで以上に疲弊することが無いように、周産期現場の課題や問題点等を計画立案に取り組む事ができたものと考えているが「机上の空論」にならぬように今後とも注意深い見守りが必要になる。

(1) 定期総会 (平成 29 年度収支決算及び平成 30 年度収支予算) について

日時：平成 30 年 7 月 13 日 (金) 午後 7 時 00 分～午後 9 時 00 分

会場：県立南部医療センター・こども医療センター 2 階 (大講堂 1・2)

次第：1. 平成 29 年度事業報告

2. 平成 29 年度収支決算報告及び平成 29 年度会計監査報告

3. 平成 30 年度事業計画 (案) 及び平成 30 年度収支予算 (案)

4. 平成 30 年度役員 (案)

5. その他

特別講演：『災害時小児周産期リエゾン 新しい災害支援のかたち』

講 師：あいち小児保健医療総合センター 救急科医長 伊藤 友弥 先生

参加者数：44 名 (小児科医:17 名、産婦人科医:19 名、助産施設:3 名、その他:5 名)

(2) 役員会について

①平成 29 年度 第 3 回 役員会

- 日 時：平成 30 年 6 月 22 日（金） 午後 7 時 30 分～9 時 05 分
会 場：県立南部医療センター・こども医療センター 会議室 2・3（2 階）
検討事項：1. 各施設・近況報告
2. 平成 30 年度総会及び特別講演会について
3. 周産期医療整備計画について（第 7 次医療計画）について
4. OPeN と搬送依頼システムについて
5. 第 26 回周産期症例検討会（案）
6. 新生児蘇生法研修会現状報告
7. 研修会等
8. 次回の第 1 回役員会について

②平成 30 年度 第 1 回 『緊急』役員会

- 日 時：平成 30 年 9 月 11 日（火） 午後 7 時 30 分～9 時 05 分
会 場：県立南部医療センター・こども医療センター 会議室 2・3（2 階）
協議事項：1. 沖縄赤十字病院の夜間の母体搬送受入れ制限の各施設の状況について
2. OPeN のデータ解析について
3. 対策協議
（ア）現状対策
①時間外母体搬送をどのように運営するのか
②人材確保の手段はあるのか
（イ）中長期対策
①医療計画にどのように反省させるか
4. 講演会の案内について
5. 次回の第 2 回役員会について
6. 第 26 回周産期症例検討会の日程変更について

③平成 30 年度 第 2 回 役員会

- 日 時：平成 30 年 10 月 31 日（水） 午後 7 時 30 分～8 時 45 分
会 場：県立南部医療センター・こども医療センター 会議室 2・3（2 階）
協議事項：1. 各施設での沖縄赤十字病院の夜間母体搬送の受入れ制限による影響について
2. 平成 31 年度の「総会・特別講演会」について
3. 周産期医療分野に関する行動計画（第 7 次医療計画）について
4. 搬送システムの広報について
5. OPeN と搬送依頼システム
（ア）改善点？
（イ）データの活用するために
6. 第 26 回周産期症例検討会について
7. 今年度新生児蘇生法研修会の開催日程について
8. 研修会等について
9. 次回の役員会の日程について
10. 退任のご挨拶（糸数 健 先生）

④平成 30 年度 第 3 回 役員会

- 日 時：平成 31 年 3 月 6 日（水） 午後 7 時 30 分～8 時 45 分
会 場：県立南部医療センター・こども医療センター 会議室 2・3（2 階）
協議事項：1. 各施設・近況報告
2. 平成 31 年度総会・特別講演会について
3. 周産期医療分野に関する行動計画（第 7 次医療計画）について
4. 10 連休の搬送システム
5. OPeN と搬送依頼システム
6. 第 27 回周産期症例検討会について

- 7. 今年度新生児蘇生法研修会現状報告
- 8. 研修会等について

(3) 症例検討会について

①第25回 周産期症例検討会

日 時：平成30年6月8日(金) 午後7時30分～9時10分

会 場：沖縄県小児保健センター3階(大ホール)

参加者数：38名(小児科医：5名、産婦人科医：31名、その他：2名)

<症例報告>座長：琉大附属病院 小児科 吉田朝秀 先生)

演題①：「第7次沖縄県医療計画(周産期医療分野)について」

演 者：山川宗貞 氏(沖縄県保健医療部 地域保健課 課長)

演題②：「双胎妊娠にて1児を妊娠21週で流産後、2児も妊娠22週で早産となった症例」

演 者：県立南部医療センター・こども医療センター(産婦人科) 泉 有紀 先生

②第26回 周産期症例検討会

日 時：平成30年11月28日(水) 午後7時30分～9時20分

会 場：沖縄県小児保健センター3階(大ホール)

参加者数：35名(小児科医：7名、産婦人科医：23名、助産施設：3名、その他：2名)

<症例報告> 座長：那覇市立病院 産婦人科 渡嘉敷みどり 先生

演題①：『臍帯断裂の1例』

演 者：県立南部医療センター・こども医療センター 新生児内科 下地良和 先生

演題②：病診連携室経由での外来紹介のあり方について

演 者：那覇市立病院 産婦人科 渡嘉敷みどり 先生

<報告事項>

演題①：「第7次沖縄県医療計画(行動計画と沖縄周産期ネットワーク協議会の役割)

演 者：琉大病院 周産母子センター 吉田朝秀 先生

(ア) アドベンチストメディカルセンターの産科の閉院について(情報提供)

(イ) 来年4月に「三つ子が3組」生まれる予定について(宮城雅也 会長)

<ディスカッション>

(ア) 搬送システムのあり方について

(4) 新生児蘇生講習会について

新生児蘇生法を習得した医療従事者を養成し、新生児の救命と重篤な障害を回避し新生児死亡率の改善を目指した「新生児蘇生講習会」を今年度も重点項目として開催し、大きな実績を上げることができた。今後も他地区医師会の協力を得て展開していく。なお、当講習会は平成24年6月15日より、沖縄県医師会が県からの委託を受けて、今年度は10回開催した。

14. 病診連携委員会

病病・病診・診診連携の一環として、お互いの病院・診療所間の情報交換が近年ますます重要になっていることから、代表として病院施設10病院(天久台病院、おもろまちメディカルセンター、浦添総合病院、大浜第一病院、沖縄協同病院、南部医療センター・こども医療センター、沖縄赤十字病院、大道中央病院、豊見城中央病院、那覇市立病院)と診療所施設委員を含め病診連携委員会を構成し、よりよい連携を目指して活動している。

平成29年度より「医業支援システム」を立ち上げ、依頼に応じて種々対応を行っている。今年度は1施設5日間、5名の医師派遣を行った。

皇位継承に伴うGWの10連休中の医療提供体制の確保のため、会員および基幹病院への診療予定のアンケート調査を行い、那覇市医師会のホームページに診療予定情報の掲載を行った。

1. 病診連携懇親会について

(1) 第14回 那覇市医師会 『病診連携懇親会』

日 時：平成30年5月19日(土) 開場：午後5時より

会 場：那覇市医師会ホール(4F)

対象者：①那覇市医師会会員と師長クラス(又は病診連携担当)

②病診連携の病院施設は1施設約10名程度(病診連携スタッフ含)

《式次第》受付・・・17:00～

I 意見交換会・・・18:00～19:10

【テーマ：病診連携・かかりつけ医・ICT連携】

1. 「高齢者の入院時及び救急搬送時の課題等」に関するアンケート調査報告

(報告：高江洲あやこ 係長 ちゅいしーじー那覇/那覇市医師会)

2. 那覇市医師会「病診連携情報誌(2017年版)」のホームページ掲載について

(報告：玉井 修 副会長(那覇市医師会 副会長/曙クリニック))

3. 「ICT連携(利用者拡大)システム」について(シンポジウム形式)

講師：①玉井 修 先生(那覇市医師会 副会長/曙クリニック)

②喜納 美津男 先生(那覇市医師会 理事/きなクリニック)

③原田 俊介 様(株式会社カナミックネットワーク)

～ 歓 談 ～ (懇親会会場作り 19:15～19:25)

II 懇親会・・・19:20～21:00頃

挨拶 那覇市医師会 副会長 友利 博朗(八重洲クリニック 院長)

乾杯 病診連携委員会 委員長 大城 康一(大浜第一病院 院長)

※ 参加施設数：参加者数：98名/31施設(内訳：医師・・・34名・スタッフ・・・64名)

2. 病診連携委員会について

(1) 第1回 病診連携委員会 報告

日 時：平成30年12月19日(水) 19:30～21:10

会 場：那覇市医師会4階ホール

【報告事項】

①第14回 病診連携懇親会(平成30年5月19日(土))について

②子ども医療費無償化による状況の変化について

【協議事項】

①2019年ゴールデンウィーク10連休(4/27～5/6)の対応について

②地域包括診療加算の対応について

③那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会の取り組み状況について

④2019年度 病診連携懇親会の開催日程及び企画内容について

⑤第2回病診連携委員会の開催について

【お知らせ】

①市民フォーラム開催について「人生会議」～よりよく生ききるために～

(2) 第2回 病診連携委員会 報告

日 時：平成31年3月5日(火) 19:30～20:30

会 場：那覇市医師会4階ホール

【報告事項】

①2019年10連休の診療予定アンケート調査結果報告

【お知らせ】

①病診連携懇親会開催について

日 時：平成31年5月11日(土) 18:00～21:00

会 場：那覇市医師会4階ホール

講演会：【テーマ：在宅医療診療報酬について】

医療法人ゆうの森 理事長 永井 康徳 先生

15. 学術・生涯教育委員会

今年度の認定講演会回数は各病院で行なわれている講演会や症例検討会を含めて17回を数えた。引き続き日医生涯教育認定参加証の発行を行なっている。

主に那覇市医師会「学術・生涯教育講演会」として以下の講演会を当会ホールにて開催した。
今回は文化講演会として、「日本酒の話」を奥の松酒造株式会社 統括営業部長 津島健先生のお話をグラス片手に試飲しながら楽しく拝聴した。

また、平成30年度診療報酬改定に伴い、「ベンゾジアゼピン系薬剤の処方料・処方箋料が新設」されたことを受けて、その条件を満たすべく、急遽、3月に講演会を開催した。

京都大学iPS細胞研究所との共催で「ノーベル生理学・医学賞を受賞」の『山中伸弥教授』等をお招きし、一般市民対象シンポジウム「iPS細胞がつくる未来の健康」を開催した。

- ①日 時：平成30年4月12日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『ウロギネ領域における、排尿障害治療の戦略』
講 師：沖縄協同病院 泌尿器科 部長 嘉手川 豪心 先生
参加者：29名
共 催：アステラス製薬
- ②日 時：平成30年5月10日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『高齢者心不全の現状と課題 ～発症させないために今できること～』
講 師：大浜第一病院 循環器内科 部長 伊敷 哲也 先生
参加者：39名
- ③日 時：平成30年6月14日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『夏場の愁訴に役立つ漢方薬』
講 師：東北大学病院 漢方内科 助教 大澤 稔 先生
参加者：68名
共 催：ツムラ株式会社
- ④日 時：平成30年7月12日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『がんを免疫で治す』
講 師：独立行政法人くまもと県北病院機構 玉名地域保健医療センター
病院長 赤木 純児 先生
参加者：39名
主 催：予防医学研究会
- ⑤日 時：平成30年8月9日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『琉球病院における精神科専門医療、特にアルコール依存症治療の現状について』
講 師：独立行政法人 国立病院機構 琉球病院 病院長 福治 康秀 先生
参加者：20名
- ⑥日 時：平成30年9月13日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『脳梗塞・最新の best medical treatment』
講 師：大浜第一病院 神経内科部長 城本 高志 先生
参加者：50名
共 催：大塚製薬株式会社
- ⑦日 時：平成30年10月11日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『上室性頻脈性不整脈』
講 師：大浜第一病院 病院長 大城 康一 先生
参加者：40名
共 催：トーアエイヨー
- ⑧日 時：平成30年11月8日（木）午後7時30分～ 於：当会ホール
演 題：『日本酒の話』
講 師：奥の松酒造株式会社 統括営業部長 津島 健 先生
参加者：16名

⑨日 時：平成 31 年 1 月 10 日 (木) 午後 7 時 30 分～ 於：当会ホール
演 題：『骨髓異型性症候群 (MDS) に伴う貧血の病態と治療 ～紹介基準～』
講 師：那覇市立病院 血液内科 部長 内原 潤之介 先生
共 催：協和発酵キリン
参加者：21 名

⑩日 時：平成 31 年 2 月 14 日 (木) 午後 7 時 30 分～ 於：当会ホール
講演①：『抗血栓薬服用患者の消化器内視鏡』
講 師：那覇市立病院 消化器内科 科部長 仲地 紀哉 先生
講演②：『かかりつけ医の心房細動治療 ～抗血栓療法も含めて～』
講 師：大浜第一病院 心臓血管センター長・循環器内科部長 前田 武俊 先生
共 催：第一三共株式会社
参加者：30 名

⑪日 時：平成 31 年 3 月 14 日 (木) 午後 7 時 30 分～ 於：当会ホール
演 題：『不眠症治療のアップデート ～新しく登場した睡眠薬の使い分けと外来で
施行できる不眠の認知行動療法～』
講 師：サマリヤ人病院 睡眠外来 普天間 国博 先生
参加者：59 名

⑫一般対象シンポジウム「iPS 細胞がつくる未来の健康」

日 時：平成 31 年 3 月 24 日 (日) 午後 2 時 00 分～ 4 時 30 分

会 場：パシフィックホテル沖縄 (万座の間)

司会進行：那覇市医師会 理事 白井 和美 先生

主催者挨拶：山城 千秋 会長 (那覇市医師会)

1. 講演：『iPS 細胞がひらく新しい医学』

講 師：京都大学 iPS 細胞研究所 山中 伸弥 所長・教授

2. 講演：『iPS 細胞を用いた心疾患の新しい治療の開発』

講 師：京都大学 iPS 細胞研究所 吉田 善紀 准教授

3. 講演：『iPS 細胞を使った膵臓再生研究』

講 師：京都大学 iPS 細胞研究所 豊田 太郎 講師

4. Q & A セッション

座長：那覇市医師会理事 宮城 政剛 先生

出演：山中伸弥教授、吉田善紀准教授、豊田太郎講師

閉会の挨拶：山中 伸弥 所長・教授 (京都大学 iPS 細胞研究所)

5. 関係者懇親会 (司会：菊池のりこ/ゲスト：金城フサ子舞踊研究所、下地 勇)

出席者：iPS 細胞研究所、沖縄トヨタ、沖縄県医師会、東京昇栄、他

共 催：京都大学 iPS 細胞研究所

特別協賛：OTM グループ (沖縄トヨタ)

参加者数：約 650 名 (アンケート回収枚数：527 枚)

16. 糖尿病治療検討委員会

糖尿病患者や腎臓病患者の診療連携の構築を目指して、平成 20 年度に「糖尿病治療検討委員会」を立ち上げて以来、本委員会では会員に対して積極的に情報提供や糖尿病関連の演題会を頻回に開催 (年 8 回) し、糖尿病に関する関心度を高め、医療連携推進、治療内容の標準化に取り組んでいる。

また、演題会に参加した会員を中心に「糖尿病治療医療機関 (一次・二次)」を選定し、併せて「腎症治療医療機関」「眼症治療医療機関」名簿を作成している。医療機関選定に当たっては一定の基準を設け選定し、患者紹介の紹介基準を明確に示すことで医師会員全体での糖尿病治療の底上げと向上を図っており、今後も診診連携・病診連携への充実化を目指していく。

同名簿は那覇市側にも提供しており、保健師等が市民向けの個別指導の際に活用されている。

今年度は、「年に 1 回は眼科を受診しよう！」のポスターを再作製し、「沖縄県歯科医師会」

作製のポスター（歯科受診の時も糖尿病連携手帳の提示をお願いします）の2種類を全会員施設に配布することで「医科と歯科」の連携にも取り組んでいる。

1. 糖尿病演題会の開催について

第1回 糖尿病講演会（共催 Diabetes Awareness Program in 沖縄）

開催日時：平成30年6月18日（月）午後7時00分～8時50分

会場：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ「守礼（6F）」

共催：ノバルティスファーマ株式会社

～ 式次第 ～

座長：常任理事 田名 毅（首里城下町クリニック第一 院長）

一般演題：『循環器専門医から診た糖尿病治療』（19:00～19:30）

講師：牧港中央病院 循環器内科部長 眞榮平 直也 先生

特別講演：『糖尿病最新治療 strategy』（19:30～20:30）

講師：田仲医院 田仲 秀明 先生

参加者数：55名（講師含む）

第2回 糖尿病講演会（共催 糖尿病療養指導セミナー）

開催日時：平成30年9月21日（金）午後7時00分～9時00分

会場：メルキュールホテル沖縄那覇「パシフィック（2F）」

共催：沖縄県薬剤師会・MSD株式会社・那覇市医師会

後援：沖縄県病院薬剤師会

～ 式次第 ～

座長：ながた内科クリニック 長田 光司 先生

①一般演題：『クリニックにおける料理教室の実際 ～個別・集団指導の波及効果～』

講師：首里城下町クリニック 管理栄養士 伊是名 カエ 先生

②一般演題：「適材適食」（19:20～20:00）

講師：二田哲博クリニック 管理栄養士 小園 亜由美 先生

座長：首里城下町クリニック第一 田名 毅 先生

③特別講演：『糖尿病の運動療法と薬物療法』（20:00～21:00）

講師：二田哲博クリニック 姪浜 院長 下野 大 先生

参加者数：96名（講師含まず）

第3回 糖尿病講演会（共催 腎症重症化予防を見据えた糖尿病治療について考える会）

開催日時：平成30年11月12日（月）午後7時00分～9時00分

会場：那覇市医師会 4階ホール

共催：小野薬品工業株式会社・沖縄県薬剤師会

～ 式次第 ～

座長：大浜第一病院 糖尿病センター長 高橋 隆 先生

一般講演：『腎症の進行を予防するために ～当院における療養指導の取り組み～』

講師：大浜第一病院 糖尿病センター 糖尿病療養指導士 前里 琉子 先生

座長：首里城下町クリニック第一 院長 田名 毅 先生

特別講演：『糖尿病合併 CKD 患者の個別化治療

～ DPP4 阻害薬・SGLT2 阻害薬の意義～』

講師：琉大医学部附属病院 血液浄化療法部

部長・准教授 古波蔵 健太郎 先生

Discussion（20:20～20:50）

ショートレクチャー 『当院における SGLT2 阻害薬使用例の解析』

講師：首里城下町クリニック第一 院長 田名 毅 先生

【テーマ】 ～腎症重症化予防を見据えた糖尿病治療について～

<パネリスト>

①琉球大学医学部附属病院 血液浄化療法部 部長・准教授 古波蔵 健太郎 先生

②大浜第一病院 糖尿病センター センター長 高橋 隆 先生

参加者数：61名（講師含まず）

第4回 糖尿病講演会 (共催 第9回 糖尿病週間学術講演会)

開催日時：平成30年11月22日(木) 午後7時00分～8時45分

会場：沖縄県医師会3階ホール

共催：ノボノルディスクファーマ

～式次第～

座長：琉大大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 (第二内科)
教授 益崎 裕章 先生

演題：「糖尿病性腎症 Up-To-Date」

講師：東京女子医科大学 糖尿病センター内科 教授 馬場園 哲也 先生

参加者数：140名 (講師含まず)

第5回 糖尿病講演会 (共催 第13回 那覇・浦添 コメディカル糖尿病セミナー)

開催日時：平成31年2月13日(水) 午後7時15分～9時10分

会場：大浜第一病院 あめくふれあいセンター

共催：MSD株式会社

～式次第～

座長：大浜第一病院 糖尿病センター長 高橋 隆 先生

演題①：「通院患者における塩分摂取量について」

講師：屋宜内科医院 管理栄養士 浦崎 みずき 先生

演題②：「WCD装着期間中の外来心臓リハビリテーションについて」

※ WCD (着用型自動除細動器)

講師：大浜第一病院 看護部 救急特殊外来 心臓リハビリテーション

河合 利香 先生

演題③：「循環器内科医からみた糖尿病治療について」

講師：沖縄赤十字病院 循環器内科 第一部長 砂川 長彦 先生

参加者数：55名 (講師含む)

第6回 糖尿病講演会 (共催 那覇新都心 糖尿病連携ネットワーク)

開催日時：平成31年3月13日(水) 午後6時30分～8時10分

会場：大浜第一病院 あめくふれあいセンター

共催：協和発酵キリン株式会社

～式次第～

1. 基調講演 (18:40～19:20)

座長 ながた内科クリニック 院長 長田 光司 先生

【テーマ】「高齢者糖尿病の関わり方」

講演①・行政の立場から

演題：「那覇市糖尿病及びCKD 栄養相談事例から」

演者：那覇市役所 特定健診課 保健師 高良 めぐみ 先生

講演②・医療機関の立場から

演題：「高齢者糖尿病の血糖コントロール ～現状と課題～」

演者：大浜第一病院 糖尿病センター センター長 高橋 隆 先生

2. ディスカッション (19:20～20:00)

司会 大浜第一病院 糖尿病センター長 高橋 隆 先生

テーマ：「行政と医療機関の連携 in 那覇新都心 ～役割分担について～」

参加者数：40名 (講師含む)

第7回 糖尿病講演会 (共催 那覇新都心 糖尿病連携ネットワーク)

開催日時：平成31年3月15日(金) 午後7時00分～8時50分

会場：ANAクラウンプラザホテル沖縄 ハーバービュー 「白鳳」

共催：ノバルティスファーマ

～式次第～

Opening Remarks (19:10～19:15)

演 題：「非専門医でも使いやすくなった糖尿病治療薬」
講 師：首里城下町クリニック第一 田名 毅 先生
座 長：翔南病院 副院長 仲地 健 先生
一般講演：「当院における糖尿病患者への食事・運動療法の取り組み
～レトルト食品を活用した調理実習、身体運動機能評価から認知症早期発
見の試み～」
講 師：すながわ内科クリニック 神谷 乗史 先生
座 長：田仲医院 院長 田仲 秀明 先生
特別講演：「DPP-4 阻害薬とメトホルミンの併用療法の意義」
講 師：産業医科大学医学部 第1内科学講座 准教授 岡田 洋右 先生
参加者数：74名（講師含む）

第8回 糖尿病講演会（共催 2019 医師・医療スタッフのための糖尿病セミナー in 沖縄）

開催日時：平成 31 年 3 月 24 日（日） 午前 10 時 00 分～13 時 00 分
会 場：県立南部医療センター・こども医療センター（2 階 大講堂）
共 催：アステラス製薬株式会社・MSD 株式会社
～ 式 次 第 ～

講演①：『DPP-4 阻害薬/SGLT2 阻害薬 配合剤の使用経験』（10:00～10:30）
講 師：屋宜内科医院 院長 屋宜 宣治 先生
講演②：『歯の健康 維持・増進』（10:30～11:00）
講 師：まきし歯科 院長 真喜志 早江子 先生
演題③：『働く世代に向けた社内ランチョンセミナーを試みて
～食から学ぶヘルステラシー～』（11:00～11:30）
講 師：首里城下町クリニック 管理栄養士 伊是名カエ 先生
特別講演：『糖尿病の病態に基づく食事療法と薬物療法を考える』（11:30～13:00）
講 師：聖マリアンナ医科大学 代謝・内分泌内科 教授 田中 逸 先生
参加者数：103名（講師含む）

17. 那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議

平成 21 年度に那覇市の保健師より那覇市 CKD（慢性腎臓病）連絡会設立への協力依頼があり無事立ち上げている。その後、さらに組織強化を目指して基幹病院の那覇市立病院（宮良忠 先生）や那覇市保健所（仲宗根正 先生）、協会けんぽ等のご支援を賜り、平成 26 年度に「那覇市 CKD 対策研究会・世話人会」を設立し、透析患者導入率の低減を目指し活動を活性化させてきた。

平成 27 年 10 月には、これらの事業を継承発展させる形で主管が那覇市側に移行し、那覇市側で新たに「CKD（慢性腎臓病）対策」として『那覇市慢性腎臓病（CKD）病診連携事業・開始式』が城間幹子那覇市長と真栄田篤彦那覇市医師会長（当時）によって宣言した。

平成 27 年 11 月には「那覇市 CKD 病診連携推進会議（会長 田名 毅）」も立ち上がり、翌 12 月には「CKD 登録医」の募集案内（48 施設加入を当初目標）が行われ、事業内容説明会を得て、今年度 4 月より本格的に稼働した。

同事業の中核病院の「那覇市立病院」で今年度 4 月から県内初の「CKD・教育入院」を開始し、教育入院より効果を実感し、さらなる拡充へと取り組みがなされている。

また、市民向けの演題会（企画：那覇市健康増進課、県腎臓病協会）への講師依頼があり、今年度は佐久田朝功先生（さくだ内科クリニック）、宮良忠先生（那覇市立病院）にて慢性腎臓病予防演題会を 2 回開催し、約 88 人の那覇市民が聴講している。

那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議を 2 回開催し、・CKD（慢性腎臓病）関連演題会も 3 回開催した。また、那覇市では「CKD ニュースレター」を年 2 回発行しており、当会経由で会員施設への配布協力を行っている。

「なはCKD48」の登録医は 68 名、腎臓診療医の登録は 37 名を数え、名称を新たに「CKD78（シーケイディーナハ）」と改名した。（H31.3 月現在）

今年度は初の取り組みとして、「松尾・開南」地区を対象として、講師に真栄城修二先生（まつお TC クリニック）を迎えて、地域別症例検討会を開催した。次年度は那覇市内各地で開催できるように支援していきたい。

同事業に那覇市医師会としても積極的に取り組み、那覇市民の健康度向上に寄与していく。

1. 那覇市 CKD（慢性腎臓病）病診連携推進会議について

(1) 平成 30 年度 第 1 回 那覇市 CKD 病診連携推進会議

日 時：平成 30 年 7 月 12 日（木）19：30～21：00

場 所：那覇市医師会 4 階 会員サロン

出席者：田名 毅（会長）・比嘉 啓・宮良 忠・糸数 昌悦・友利 博朗・屋宜 宣治・
谷川 聖・仲宗根 正（副会長） 宮城 輝

事務局：（那覇市）天久 啓子 石川 義子 高良めぐみ
（那覇市医師会事務局）上地 政昭

報告事項：1. 平成 30 年度実施要綱について
2. 新規の CKD 登録医、腎臓診療医数の報告
3. 平成 29 年度の新規透析患者数について（P-7、冊子 P24）
4. データヘルス計画について
5. 平成 29 年度 糖尿病性腎症重症化予防プログラム実績報告
6. 那覇市立病院の CKD 教育入院について

協議事項：1. 平成 30 年度症例検討会について
2. 紹介基準について
3. 紹介件数の把握について

(2) 第 2 回 那覇市 CKD 病診連携推進会議

日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土）18：00～18：30

場 所：沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ 7 階「みやらび（MIYARABI）」

出席者：田名 毅（会長）・比嘉 啓・糸数 昌悦・真栄城 修二・友利 博朗・屋宜 宣治
宮城 輝・仲宗根 正（副会長）

事務局：（那覇市）天久 啓子 石川 義子 高良めぐみ
（那覇市医師会事務局）上地 政昭

報告事項：1. 第 1 回 CKD 病診連携会議（7 月 12 日）以降について
2. 新規透析導入者の把握について（現状報告）

検討事項：1. 平成 31 年度 CKD 推進事業について
・次年度以降の方向性（地区別症例検討会の充実等）について

2. 学術講演会について

第 1 回 那覇市 CKD 連携講演会

日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土）19：00～21：10

場 所：かりゆしアーバンリゾートなは（6 階・王朝）

出席者：51 名

共 催：那覇市・那覇市医師会・中外製薬株式会社

<式次第>

(1) ご挨拶 … 那覇市医師会 常任理事 田名 毅 先生

(2) 基調講演（座長 まつお TC クリニック 真栄城 修二 先生）

演題：『中部地区における CKD・糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの実践と
医療連携 ―ハイリスク患者アプローチと「Triple therapy」―』

講師：うるま市・沖縄市 病診連携推進評価委員 委員長

すながわ内科クリニック 院長 砂川 博司 先生

(3) 特別講演（座長 首里城下町クリニック第二 院長 比嘉 啓 先生）

演題：『進化する糖尿病性腎臓病治療』

講師：久留米大学医学部 内科学講座腎臓内科部門 主任教授 深水 圭 先生

(4) 閉会の挨拶 … 那覇市保健所 参事 仲宗根 正 先生

3. CKD 地区別症例検討会について

第 1 回 CKD 地区別（松尾・開南）症例検討会

日 時：平成 31 年 3 月 28 日（木）19：00～21：00

場 所：那覇市保健所（3 階・大ホール）

症例提示：真栄城修二 先生（まつお TC クリニック）

出席者：5 名（演者含む） その他：（那覇市特定健診課：5 名）

18. 感染症・予防接種委員会

同委員会は2012年（平成24年）10月に立ち上げており、同時にメーリングリストを活用した委員間の意見交換や情報提供を頻回に行っている。

（1）那覇市実務者会議について

2018年（平成30年度）より接種委託料単価について、他地区医師会並みの価格で実施出来ており、今後も接種委託料金を維持継続していくことに努める。

第1回 那覇市実務者会議（予防接種部会）

日 時：2018年（平成30年）10月31日（水） 於：当会・理事会室

（協議事項）

1. 2019年度（平成31年度）の各種予防接種「委託料金」について（那覇市）
2. 予診票の統一について（那覇市医師会）
3. 緊急予防接種にかかる委託契約について（那覇市）

（報告事項）

1. 各種予防接種の接種率について（那覇市）
2. 日本脳炎の実費徴収廃止について（那覇市）
3. 2019年度（平成31年度）からの高齢者肺炎球菌ワクチン対象者について（那覇市）
4. 骨髄移植後等における予防接種費用補助事業について（那覇市）

（周知依頼事項）

1. 委託料請求書提出の遅延について（那覇市）
2. 接種間隔誤り等について（那覇市）

（確認事項）

1. 次年度の受託医療機関募集の取り纏めについて（那覇市）
2. 実務者会議の開催について（那覇市）

第2回 那覇市実務者会議（予防接種部会）

日 時：2019年（平成31年）1月25日（金） 於：当会・会員サロン

（協議事項）

1. 委託契約及び実施要綱について（那覇市）
2. 承諾書及び同意書（案）について（那覇市）
3. 請求事務にかかる予診票チェック項目について（那覇市）
4. 元号改正にかかる予診票の表示変更について（那覇市）
5. 成人男性の風疹対策事業について（那覇市）

（2）県内での感染症発生に関する情報提供について

感染症・予防接種委員会を平成24年10月に立ち上げ、同時にメーリングリストを活用した委員間の意見交換や情報提供を頻回に行っている。

仲宗根正先生（那覇市保健所）より「那覇市保健所風疹メーリングリスト」を立ち上げたいので協力して欲しい旨の相談があり、那覇市医師会のサーバー内に同メーリングリストを平成30年12月7日（金）に開設した。登録医療機関は50施設を数え、風しん関連の情報発信の拠点として活躍している。

平成30年3月23日（金）に、平成26年以来となる麻疹患者が県内で確認されて以降、99名にまで感染が拡大し、6月11日（月）に終息宣言がなされ、安堵したものです。

しかしながら、8月下旬に「風しん患者が発症中に沖縄本島内を旅行した」と情報が届き、3月下旬までの9名の風しん患者を数えている。

麻しん終息宣言に安堵したのも束の間、新たに10月30日（火）に麻しんを発症し、11月10日（土）に確定診断されました。その後も県外からの旅行者が、麻しん発症中に沖縄本島内で行動したとの情報も届いた。

年末の第1週（H30/12/31～H31/1/6）における定点医療機関からのインフルエンザ報告数が、1定点あたり51.17人となり、警報基準である30人を超えたことから1月9日（水）「インフルエンザ警報」が発令された。

感染症発生情報に振り回された一年間であった。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックには世界中の人々が、日本国内内に入ってきて来る。

我々会員が取り組める活動に「予防接種率の向上」による感染症の蔓延防止がある。学校医や産業医の立場など、常日頃から予防接種への推奨をお願いしたい。同時に各施設においても医療スタッフへの抗体検査や予防接種の徹底をお願いする。

19. うつ病対策検討委員会

沖縄県の自殺者は、平成10年以降、毎年300名を越えるなど今や社会問題となっている。

今年度も沖縄県のうつ病対策事業委託を受けることが確定（8年目）したことや「うつ病対策」を講じる機運の高まりを感じている。

委員会では『スペシャリスト（多職種）の連携を目指して』を命題に取り組んでいる。今年度は、「働く人のうつ病・自殺予防」をテーマに産業医としてご活躍の「山本和儀 先生（山本クリニック）」を講師にお迎えし、講演会を開催した。同講演会は「産業医認定単位（2単位）」にも認定され、産業医の支援にも繋げ、さらに、「平成30年度診療報酬改定に伴い、ベンゾジアゼピン系薬剤の処方料・処方箋料が新設」されたことに対応すべく、その条件を満たす講演会として開催した。

今年度も好評を博している「ラジオ番組」に今回は「上原智子 弁護士（沖縄弁護士会・沖縄合同法律事務所）」にもご出演いただき、広く電波を活用し「自殺対策」を呼び掛けることができた。同番組に視聴者から寄せられたメールは約250通と反響の大きさを感じた次第です。

1. うつ病対策講演会の開催について

日 時：平成30年8月15日（水） 午後7時30分～9時00分

会 場：那覇市医師会・4階ホール

司会進行：玉井 修 先生（副会長／曙クリニック）

演 題：『プライマリ・ケア医が診る、働く人のうつ病・自殺予防について
～働き方改革を含めて～』

講 師：山本クリニック 院長 山本 和儀 先生

参加者数：総数：49名（産業医：18名／医師会員：24名／看護師等：7名）

2. ラジオ番組にて「自殺対策」を訴える企画について

放送日時：平成30年9月26日（水） 午後2時30分～4時30分

番組名：ラジオ沖縄「グートゥーミートゥー（DJ：モーリー・川満アンリ）」

テ ー マ：『あなたはどんな時に孤独を感じますか？

またそんな時にどの様に対応しますか？』

出演時間：①午後3時04分～3時16分（約12分）

②午後3時43分～3時55分（約12分）

出 演 者：①玉井 修 先生（那覇市医師会・副会長／曙クリニック）

②上原智子 先生（沖縄弁護士会・沖縄合同法律事務所）

番組へのメッセージ件数：252件

20. 会員福祉

（1）第18回チャリティー写真展（交通遺児育成資金造成）

ここ数年、会場探しに腐心しており、今回もなんとか「那覇市民ギャラリー（パレットくもじ・6階）」を利用することができ無事、開催することができた。（同会場で3回開催）

会場確保が一段落したことで、これまで開催を見送ってきた「レセプション」も同パレットくもじの屋上にて開催することができた。

「ナイスタイトル賞」も4回目となり、先生方の出品タイトルも楽しみとなってきた。

期 間：30年8月7日（火）～8月12日（日）（6日間）

時 間：午前10時～午後7時（最終日は5時まで）

会 場：那覇市民ギャラリー・第一展示場（パレットくもじ6階）

- (1) 来場者数 … 577名 (1日平均：約96名)
- (2) 出品作品数 … 147点 (出品者数：36名・出品施設数：23施設)
- (3) 販売枚数及び売上金額 … 196,000円 (98点×2,000円)
- (4) 会場募金箱 … 20,657円
- (5) 募金協力者及び金額 … 86,000円
- (6) 募金合計額 ((3+4+5)) … 302,657円
- (7) 寄付金総額 (第1回～第18回) … 4,509,342円
- (8) ナイスタイトル賞 … 第1位「秩序破壊者」(安里良盛 先生／安里眼科)

(2) ビアパーティー IN ロワジールホテル
 日 時：平成30年8月18日(土) 午後7時～9時30分
 会 場：ロワジールホテルプールサイド・ビアガーデン
 参加者：29施設 212人 (大人184人、子供28人)

(3) アットホーム懇親会
 日 時：平成30年12月6日(木) 午後7時～9時
 会 場：ロワジールホテル那覇・天妃の間
 参加者：合計143名 (来賓20名、会員64名、奥様22名、家族37名)

(4) 健康ウォーキング大会の開催
 ○第36回
 日 時：平成30年11月23日(木・勤労感謝の日)10時00分～12時00分
 会 場：那覇新都心公園・大原っぱ (周回コースを3～4周)
 参加者：約400名
 ○第37回
 日 時：平成31年3月21日(木・春分の日)10時00分～12時00分
 会 場：那覇新都心公園・大原っぱ (周回コースを3～4周)
 参加者：約400名

II 検診事業

2018年度(平成30年度)の検診事業収入は約5億4千万円、対前年度比 +2.0%の結果であった。

2018年度(平成30年度)より新総合健診システムの運用を開始した。業務の標準化と精度管理・機器管理に努めた。

検診事業に関しては、年々収益が増加しており順調に事業が推移し、常に受診者の満足度を念頭において安定した収支バランスに取り組み努めた。

LHR事業は2016年(平成28年度)7月より「LHRシステムを利用した医療産業活性の為の基盤構築と応用技術の開発」を目的に開始した3年間の補助事業である「沖縄県医療産業競争力強化事業補助金」の交付が2018年(平成30年度)で終了した。

今後は事業を円滑に進めていくために「一般財団法人医療情報共有機構」を立ち上げLHR事業が独立して継続運用していくための業務移管を進めた。

ちゅいしーじー那覇では、2017年(平成29年度)に抽出した那覇市の医療・介護連携の課題について具体的に取り組むため3つの作業部会を重点的に遂行した。また、那覇市の在宅医療と介護の円滑な連携を目的とした研修会や講演会、市民を対象としたフォーラム等を開催した。

職員に関しては、広島県福山市医師会との「職員交換研修制度」が3回目を終了し、双方にとって有意義な研修であり今後も福山市医師会をはじめ、人材育成のための研修や看護学校の実習の受け入れなど積極的に推移し、職員のレベルアップに努めた。

1. 生産性について

(1) 前年度収入の比較 (税込)

(単位：千円)

No.	項目	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年差	前年比
1	一般健 (検) 診	224,165	234,287	243,059	246,612	3,553	101.4%
2	人間ドック健 (検) 診	33,955	37,257	37,255	32,470	△ 4,785	87.2%
3	社保成人病健 (検) 診	121,776	119,197	125,445	136,224	10,779	108.6%
4	受託収入	115,099	109,930	119,509	121,373	1,864	101.6%
5	学童検診	3,913	4,533	4,306	4,534	228	105.3%
6	保険診療	2,357	2,086	1,429	1,129	△ 300	79.0%
	合計	501,265	507,290	531,003	542,342	11,339	102.0%

(2) 事業所健診等による健診受診者数及び各種健 (検) 診受診者数

(単位：人)

No.	項目	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年差
1	事業所健診					
	施設内	10,924	10,892	11,486	11,697	211
	巡回	12,376	11,698	11,808	11,720	△ 88
2	協会けんぽ					
	施設内	5,184	5,174	5,297	6,072	775
	巡回	1,840	1,720	2,175	2,421	246
3	人間ドック					
	施設内	986	1,046	836	1,036	200
	巡回	—	—	—	—	
4	特定健診					
	施設内	1,248	1,207	1,227	1,053	△ 174
	巡回	1,221	501	2,127	1,943	△ 184
5	胃がん検診					
	施設内	869	686	657	630	△ 27
	巡回	—	—	290	288	△ 2
6	大腸がん検診					
	施設内	1,043	873	898	845	△ 53
	巡回	—	—	701	676	△ 25
7	肺がん検診					
	施設内	1,097	905	913	870	△ 43
	巡回	—	—	1,029	995	△ 34
8	乳がん検診					
	施設内	1,015	640	665	477	△ 188
	巡回	2,689	3,531	2,704	3,189	485
9	子宮がん検診					
	施設内	682	591	487	467	△ 20
	巡回	3,261	3,454	3,417	3,170	△ 247
10	肝炎ウイルス 検診					
	施設内	115	60	83	65	△ 18
	巡回	—	—	171	32	△ 139
11	小児生活習慣病予防検診	91	99	97	98	1
12	学童心臓検診	1,913	2,697	2,241	2,835	594
13	保育園検診	1,380	—	—	—	

(3) 受託健診（那覇市がん検診等）による健（検）診受診者数 (単位：人)

No.	受託健診（特定・がん検診等）	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年差
1	特定健診	20,493	21,882	21,905	21,948	43
2	胃がん検診	1,226	1,210	1,225	1,167	△ 58
3	大腸がん検診	4,235	3,855	4,177	4,344	167
4	肺がん検診	3,375	3,461	3,521	3,602	81
5	乳がん検診	2,377	1,999	1,603	1,598	△ 5
6	子宮がん検診	3,901	3,869	3,465	3,463	△ 2
7	肝炎ウイルス検診	1,030	585	728	669	△ 59

No.	沖縄県産婦人科医会 共催検診	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	前年差
1	子宮がん検診（組合・健保等）	3,436	3,321	3,361	3,475	114
2	乳がん検診（組合・健保等）	2,792	2,730	2,803	2,976	173

2. 生活習慣病検診センター運営委員会

定例で2ヶ月に1回偶数月の第1月曜日に開催。今年度は年間5回開催し、検診センターの運営に関する事項について協議した。主な内容を以下に示す。

(1) 特定健診を用いた慢性閉塞性肺疾患（COPD）検診の試みについて（アンケート回答）
COPDのプロジェクトについてアンケートを取った結果の報告がなされた。

発送した103施設のうち、47施設からの回答をいただいた。プロジェクトの賛同については44施設あり、プロジェクトについては先ずは検診センターのみで実施し、実績等の様子をみながら会員施設へお願いすることで承認がなされた。

また、二次検査の協力施設（12施設）については、治療も含めて対応が可能な施設が望ましいとの意見もあり、再度総合病院も含めて検討していくことで了承がなされた。

(2) 生活習慣病予防健診における胃内視鏡検査の外部委託の運用開始について

平成29年度より協会けんぽにおける生活習慣病予防健診の胃内視鏡検査において、外部委託を可能とする運用が開始しております。今回、小禄病院より外部委託（再委託）の申し出を受け検診部でも検討をしておりますが、費用及び受診日、送迎等の問題もあるが、共同利用施設として1施設と再委託をした場合において、問題がないか協議して頂きたく提案がなされ、理事会で協議した結果、見送ることとした。

(3) 乳がん検診における「高濃度乳房」への対応について

厚労省より日本乳癌検診学会へ「高濃度乳房」への対応についての通知文書が届いている旨の報告がなされた。当検診センターは「高濃度乳房」への方には情報提供として既に報告をしておりますが、今後各市町村と適切な情報提供について、乳腺エコーの料金の補助も含め協議していくことで提案がなされ了承された。

(4) 広島県福山市医師会との「職員交換研修制度」実施について

平成28年度より開始している福山市医師会との「職員交換研修制度」について今年も8月に交換研修実施の提案がなされ異議なく承認された。

研修予定者：那覇市医師会：根間一徳（放射線技師）

福山市医師会：星田洋征（放射線技師）

(5) 特定健診及び各がん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）の精度管理報告会の開催について

当会検診センターで特定健診及び各がん検診の事務委託を受けたおり、会員の先生方に受診率、要精密検査数、また、各検診の最近のトピクスなど報告する義務があるのではないかと提案がなされ、事務局案とし、特定健診については、崎原先生、肺がんについては、豊田先生、胃・大腸がんについては、又吉先生、子宮がんについては、糸数先生、乳がん検診については、上原先生、玉城先生の提案がなされ、11月～12月頃の開催で了承がなされた。

(6) 「特定健診と認知症検診の取り組み」について（那覇市へ要望）

友利副会長から那覇市への要望として提案予定されている「特定健診と認知症検診」の組み入れについて報告がなされ、特定健診との組み合わせと言うこともあり、検診センター運営委員会が中心として取り組むことでの了承がなされた。

(7) 公益財団法人 JKA の補助事業（婦人検診車）について

平成 11 年に補助事業で取得している婦人検診車が老朽化しており、石垣市、竹富町、与那国町、久米島町、粟国村、渡名喜村、糸満市、与那原町の受託を受けており、今後も婦人検診車の活躍が不可欠であり平成 31 年度の補助事業であるが、申請期間が平成 30 年 8 月～9 月 14 日までであるとのことで提案がなされ異議なく了承された。

(8) 平成 30 年度沖縄県産業衛生安全大会協賛広告への依頼について

沖縄県産業衛生安全大会の協賛広告の依頼について、那覇地域産業保健センターの事業であるが、同事業からの協賛広告ができないため、検診部で協賛広告が可能か提案がなされ、理事会で協議した結果、了承された。

(9) 沖縄県産婦人科医会（市民公開講座）からの共催依頼申請について

沖縄県産婦人科医会より毎年 9 月に開催している市民公開講座の共催依頼についての提案がなされ、理事会で協議した結果、了承された。

(10) 当会検診センターの紹介状（ご高診用紙）の取り扱いについて

平成 30 年 9 月 14 日の理事会より以下の内容について問い合わせがあり、検診センター運営委員会での協議事項となりました。

がん検診で要精密検査が出た際、紹介状（ご高診用紙）を持って那覇市立病院や沖縄赤十字病院への受診際、病院名、診療科の名前がないと 5,000 円の患者負担が生じるため今後の二次検査機関の見直しをした方がよいのではないかと提案があり、県内 200 床以上の病院に選定療養徴収の有無を確認した結果、下記の回答を頂いた。

※紹介状もしくは精密検査依頼書がある場合は選定療養費徴収なし。（10 病院）

- ①大浜第一病院、②沖縄赤十字病院、③おもろまちメディカルセンター、
- ④豊見城中央病院、⑤浦添総合病院、⑥国立療養所沖縄病院、⑦沖縄協同病院、
- ⑧那覇市立病院、⑨ハートライフ病院、⑩県立中部病院

※要医療・診療科が違う場合は選定療養費徴収あり。

- ⑪琉球大学付属病院

※紹介状の場合のみ選定医療費の徴収なし。（精密検査依頼書は紹介状とみなさない）

- ⑫中頭病院

(11) 平成 30 年度日曜会員健診の実施日程について

日曜会員健診について、下記の日程の提案がなされ提案どおりの日程で了承がなされた。内視鏡検査の医師につきましては、又吉委員へ人選をお願いすることとした。

- ①平成 31 年 1 月 20 日（第 3 日曜日）
- ②平成 31 年 2 月 24 日（第 4 日曜日）

(12) がん検診精密検査医療機関名簿（肺がん・胃がん・大腸がん・子宮がん・乳がん）作成について

各がん検診について精密検査医療機関名簿を作成するにあたり、2年に1回登録の手上げをしていましたが、新規開業、閉院等があり今回より1年に1回確認する提案がなされ了承された。

名簿登録条件については、沖縄県検診精密検査医療機関名簿作成要領を参考に実施することとした。また、肺がん検診については、当委員会からの推薦等も含めて検討することとし、子宮がん検診については沖縄県産婦人科医会の名簿を参考に確認することとした。

(13) 特定健診における管理区分について

特定健診における管理区分について、昨年9月に受託医療機関へ「特定健康診査検査項目管理区分表」を配布しましたが、会員施設よりいくつかご指摘がありました。今回人間ドック学会の管理区分の変更に伴い、eGFRとHDL-Cコレステロールの管理区分変更について、提案がなされ下記の内容で了承され、クレアチニンと尿酸の基準値に関してはJCCLSに準拠していく旨の報告がなされた。変更の案内については理事会へ報告後発送することとした。

eGFR 49.0未満 ⇒ 45.0未満

HDL D2（要二次検査） ⇒ C（経過観察）

(14) 第50回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会について

開催日程・令和元年7月6日（土）～7日（日）担当：佐賀県健康づくり財団分科会への発表テーマとして「大腸がん検診（便潜血検査）」に関するアンケート調査を福山市医師会と共同で行う予定の報告がなされ了承された。

沖縄県は全国と比べて大腸がんにおける精検受診率が悪く、全国が70%に対し40%である。なぜ受診率が悪いのかの、例えば受診勧奨が問題なのかあるいは大腸カメラを受ける医療資源がないのかアンケート調査をして結果を分科会のテーマとしての発表理由が述べられた。

(15) 平成31年度年度の事業計画（案）及び予算（案）について

(1) 平成31年度 事業計画（案）について

平成30年4月より新総合健診システムのバージョンアップを行った。今後とも多様化するニーズに備え「迅速・正確・親切」な健康診断を提供できるように引き続き努力し、常に受診者の満足度を念頭において、受診環境の充実と同時にスタッフの接遇の向上はもとより、安定した収入を確保し収支バランスの取れた財務運営に取り組んでいき、人材育成においてもこれまで通り職員研修や職員交換研修など積極的に推進し、施設のレベルアップに努めていく。

今年目標として、精密検査の未受診者を確実に医療に結びつけるようにさらに努力していく。

平成29年度から那覇市より在宅医療・介護連携推進事業を受託し「ちゅいしーじー那覇」が開設された。これまで実施してきた多職種連携研修会や市民への在宅医療の普及啓発をさらに充実させていく。

(2) 平成30年度 補正収支予算書（案）及び2019年度収支予算書（案）について

資料に基づき補正予算（案）及び予算（案）を概ね下記のように報告した。

(平成30年度補正予算)

平成30年度の検診事業の補正予算ですが、当初予算から大きく変わる点としては、新総合健診システム購入に伴い、当初予定していた金額より帳票類関係のシステムをカスタマイズし、経費増としています。また保守管理費についても新総合健診システム関係で経費増となっています。

健康診断事業総収入は予算通りの見込みになっており、受託検診収入の総収入では当初予算より200万円の減収ですが前年度決算額並を見込みの旨報告がなされた。

また今年度は定年による退職者2名、自己都合による退職者3名おりましたので1千213万円を計上しております。

補正後の当期収支差額は150万円となり前期繰越収支差額をあわせまして次期繰越収支差額は1億557万円となります。

(2019年度予算)

まず収入ですが、企業検診をはじめ、ストレスチェック検診、離島検診を引き続き実施し、新総合健診システム導入、マンパワーの充実による業務の効率化により事業活動収入は6億2千600万を見込んでおり、そのうち健診収入は5億4千350万円を見込んでおります。また引き続き那覇市より在宅に関する事業者が補助金の元で実施します。

予備費の5百万円を含めまして平成31年度の収支差額は▲913万円となり前期繰越収支差額をあわせまして次期繰越収支差額は1億1,110万円となります。

※2019年度は公益財団法人JKAへ婦人検診車補助金申請をしており、内示が今月3月末となっております。その為、備品の購入、減価償却への積み立てもその結果次第で変わりますので現時点では計上していません。

(16) 2019年ゴールデンウィーク9連休(4/28～5/6)の対応について

検診センターの業務について4月30日～5月2日の3日間を含めて事務局より9連休(4/28～5/6)の提案がなされ了承された。

(17) その他

事業計画(案)にある小児生活習慣病検診の受診率を上げるためにも集団検診から個別検診へ移行できるよう提案がなされ、同運営委員会でも今後積極的に取り組むことと了承された。

胃部読影について、遠隔読影の提案がなされた。(初年度係る費用：2,628,000円)

理由として、特に5月の胃部読影件数について、1,426件あり昨年結果報告が1ヶ月余りかかり、これまでの読影委員会と合わせて遠隔読影を行うことで結果報告がスムーズになる旨の提案がなされた。胃部読影委員会世話人の又吉先生のご意見も踏まえて今後検診センターとしての方向性を決めていくこととした。

3. 生活習慣病検診センター読影委員会

【胃部読影委員会】30名

玻座真博明、又吉亮二、友寄英毅、中山良有、金城治、大城義人、平良朝秀、大城淳、金城幸博、我喜屋出、大見洋二、高里良孝、岸本幸治、前田企能、仲吉朝史、古謝将常、山城雄二、佐久川紀彦、宮城剛、島袋隆志、長嶺信夫、川上祐子、宮城聡、大城勝、仲地紀茂、玉井修、上原剛、白井和美、宮城政剛、森田光

【眼底検査読影委員】8名

荻堂哲司、大見謝恒人、宮平誠司、仲村佳巳、石川秀夫、仲里博彦、渡久山洋子、我喜屋宗雄

【マンモグラフィ読影委員会】16名

屋良勲、大城淳、鎌田義彦、大嶺靖、金城治、高良光雄、長嶺信治、国仲弘一、上原協、白石牧子、宮城淳、佐久本哲男、新里仁哲、玉城研太郎、大城義人、滝上なおこ

【乳腺エコー検査読影委員】2名

上原協、玉城研太郎

【心エコー検査読影委員】1名

大城康彦

【肺がん検査読影委員】5名

喜屋武邦雄、豊田和正、兼島洋、久手堅憲史、嘉数光一郎

4. 那覇市在宅医療・介護連携推進事業

平成 29 年 4 月より那覇市から下記の委託内容を受け、那覇市在宅医療・介護連携事業を推進している。

- (ア) 地域の医療・介護の資源の把握
- (イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (ウ) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援
- (オ) 在宅医療・介護連携に関する相談支援
- (カ) 医療・介護関係者の研修
- (キ) 地域住民への普及啓発
- (ク) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

今年度は、平成 29 年度に抽出した那覇市の医療・介護連携の課題について具体的に取り組む下記（１）の 3 つの作業部会を重点的に遂行した。また、那覇市の在宅医療と介護の円滑な連携を目的とした研修会や講演会、市民を対象としたフォーラム等を開催した。

（１）那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会及び作業部会

那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会において事業全体や市民フォーラムに関する協議、また特に下記の作業部会の進捗・報告を行った。

- ・那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会（第 1 回～第 4 回）
- ・作業部会 A 『入退院支援の推進』（第 2 回～第 8 回）
医療・介護関係者との意見交換会（退院支援看護師 8 回、介護支援専門員・地域包括支援センター 7 回、リハビリ職 4 回、管理栄養士 6 回、医療ソーシャルワーカー 6 回）を実施し、多職種の合意形成のもと『入退院支援連携コンセンサスブック』の作成に取り組んだ。
- ・作業部会 B 『介護関連施設と医療との連携』（第 2 回～第 10 回）
「有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅と医療・行政との連携に関する意見交換会」を踏まえて『那覇市版 住宅型有料老人ホームと医療との連携ポイント集』の作成に取り組んだ。
- ・作業部会 C 『在宅医療・介護の充実』（第 3 回～第 6 回）
在宅医療・介護資源の「連携強化」と「拡充」の 2 本柱の取組みを実施した。拡充に関しては、病院勤務医を対象に『病院勤務医の在宅医療参入への試み』について講演会を実施、また、病院に勤務する専門職（退院支援看護師、薬剤師）を対象に、「在宅医療同行訪問研修」を実施した。

（２）那覇市在宅療養支援診療所連絡会

在宅療養の核となる在宅療養支援診療所による那覇市在宅療養支援診療所連絡会を約 2 ヶ月に 1 度の割合で在宅医療に関する問題点について協議した。

- ・那覇市在宅療養支援診療所連絡会（第 1 回～第 6 回）

（３）那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会

在宅医療担当理事、那覇市医師会副会長、検診部所長で構成され、那覇市在宅医療・介護連携推進事業における具体的取組みについて協議することを目的に平成 30 年 8 月より発足した。今年度は主に在宅医療の拡充について協議を行った。

- ・那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会（第 1 回～第 8 回）

（４）医療・介護関係者向け研修会

今年度も医療・介護関係者を対象とした下記研修会を実施し、多職種間でのディスカッションを通して連携強化を図った。今年度は病院勤務医からの発表も交えて、病院と在宅医療・介護との連携の質の向上を図った。

【大症例検討会】 司会進行・座長：嘉数朗（那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事）

回	開催日	症例・発表者	参加数
1	平成 30 年 4 月 19 日	症例①：『アルツハイマー型認知症の症例』 発表者：シャロンクリニック 院長 上間 一 氏 症例②：『筋ジストロフィーの症例』 発表者：おもろまち訪問看護ステーション 所長 上原 ひろみ 氏	44 名
2	平成 30 年 6 月 7 日	症例①：『急遽、在宅医療の方針となった末期胃癌の一例』 発表者：那覇市立病院 消化器外科医長 知念 順樹 氏 症例②：『こんな時どうする？目標にズレが生じた時』 ～神経難病の一例～ 発表者：大浜第一病院 訪問リハビリ 言語聴覚士 山内 美加 氏	66 名
3	平成 30 年 8 月 16 日	症例①：『末期癌患者との関わり方』 ～第三者の介入を好まないケース～ 発表者：ゆずりは訪問診療所 看護師 日高 志州 氏 症例②：『糖尿病独居高齢者の退院支援』 発表者：大浜第一病院 地域医療連携センター 医療ソーシャルワーカー 嘉手納 泉也 氏	45 名
4	平成 30 年 10 月 17 日	症例①：『ふるさとでの看取りを希望し航空機で搬送した進行癌患者の経験』 発表者：那覇市立病院 消化器外科 科部長 長濱 正吉 氏 症例②：『受診拒否の独居高齢者への支援』 発表者：那覇市地域包括支援センター松川 所長（社会福祉士） 中村 丘学 氏 演 題：『地域における自立生活支援の考え方』 ～ソーシャルワークの視点から～ 講 師：沖縄大学 人文学部 福祉文化学科 准教授 玉木 千賀子 氏	77 名
5	平成 30 年 12 月 20 日	症例①：『難治性膿胸に対して手術を行った患者の事例を通して』 発表者：沖縄赤十字病院 副院長 兼 第一外科部長 宮城 淳 氏 症例②：『末期がん利用者の看取り事例』 発表者：特別養護老人ホーム和 介護主任 当間 順子 氏	32 名
6	平成 31 年 2 月 21 日	症例①：『介護現場と在宅での歯科の役割』 発表者：デイサービス南部整形外科 歯科医師・施設長 大城 健 氏 症例②：『歯科衛生士が関わった終末期患者の口腔ケア』 発表者：沖縄協同病院 リハビリ室 歯科衛生士 仲程 尚子 氏	37 名

【在宅医療における多職種連携研修会】

司会進行・座長：嘉数朗（那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事）

回	開催日	テーマ・発表者	参加数
1	平成 30 年 5 月 18 日	テーマ：『食べられなくなった方への連携』 発表者：おもろまちメディカルセンター 循環器内科部長 嘉数 朗 氏	38 名
2	平成 30 年 7 月 20 日	テーマ：『認知症患者における身体合併のため帰宅困難となった症例の検討』 発表者：曙クリニック 院長 玉井 修 氏	54 名
3	平成 30 年 9 月 27 日	テーマ：『独居高齢者 大腸がん終末期の一例』 ～療養場所の選択について考える～ 発表者：沖縄県看護協会 訪問看護認定看護師 訪問看護ステーションはえばる 所長 宮城 愛子 氏	34 名
4	平成 30 年 11 月 16 日	テーマ：『頼りになるキーパーソンがいない患者（利用者）の事例』 発表者：那覇倍生園ケアプランセンター 介護支援専門員 新城 泉 氏 講 師：ゆいま～る法律事務所 弁護士 寺田 明弘 氏	124 名

回	開催日	テーマ・発表者	参加数
5	平成 31 年 1 月 18 日	テーマ：『地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師の役割』 発表者：沖縄県薬剤師会 常務理事／福寿薬局 薬剤師 笠原 大吾 氏	36 名
6	平成 31 年 3 月 15 日	テーマ：『胃ろうから経口摂取に向けた食支援 ～管理栄養士の視点から～』 発表者：沖縄県栄養士会 理事 管理栄養士 吉田 陽子 氏	43 名

【その他研修会】

回	開催日	研修名・テーマ・発表者	参加数
1	平成 30 年 5 月 21 日	【介護職から医療職向け研修会】 テーマ：『キーパーソンのいない患者（利用者）の課題と対応について』 発表者①：那覇偕生園 主任介護支援専門員 末吉 淳志 氏 発表者②：大名居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 新城 和三 氏	64 名
2	平成 30 年 8 月 3 日	【平成 30 年度 在宅医療推進の為の勉強会】 演 題：『がん医療から慢性期医療まで CV ポートや PICC の効果的 な使い方』 ～血管内留置デバイス選択から治療マネジメントを考える～ 講 師：大浜第一病院 CV ポートセンター スーパーバイザー 岸 宗佑 氏	65 名
3	平成 30 年 8 月 22 日	【医療職から介護職向け研修会】 テーマ：『これからの医療・介護連携について』 発表者：那覇市医師会 在宅医療・地域包括ケア担当理事 嘉数 朗 氏	40 名
4	平成 30 年 10 月 25 日	【医療職から介護職向け研修会】 テーマ：『認知症のさまざまな症状について』 ～医学的・心理的な理解とケア・対応～ 発表者：城間クリニック 院長 城間 清剛 氏	56 名
5	平成 30 年 11 月 28 日	【ワールド・カフェ（病院と在宅医療・介護との連携）in 大浜第一病院】 演 題：『病院勤務医の在宅医療参入への試み』 講 師：おもろまちメディカルセンター 循環器内科部長 嘉数 朗 氏 テーマ：『医療・介護依存度の高い患者の在宅療養』 発表者：大浜第一病院 地域医療連携センター MSW 當銘 由香 氏	66 名
6	平成 31 年 1 月 11 日	【那覇市地域包括支援センター向けアドバンス・ケア・プランニングと エンド・オブ・ライフ・コミュニケーション研修会】 テーマ：『どうする？人生会議』 講 師：友愛会 南部病院・麻酔科診療部長 緩和ケア担当医 笹良 剛史 氏	57 名
7	平成 31 年 1 月 11 日	【セルフ・ネグレクトに関する研修会】 演 題：『セルフ・ネグレクト ～支援を求めない人にどう対応するか～』 講 師：東邦大学看護学部 看護学研究科 教授 岸 恵美子 氏	95 名
8	平成 31 年 2 月 27 日	【介護職から医療職向け研修会】 テーマ：『いまなぜ『介護』が問いただされるのか…』 ～介護の重要性と課題～ 発表者：沖縄県介護福祉士会 会長 羽鳥 訓秀 氏	43 名

(5) 2018 那覇市在宅ケアネット大懇親会

日 時：平成 30 年 11 月 22 日 (木) 午後 7 時～午後 10 時

場 所：ライブスポットアパッチ

在宅医療・介護に携わる多職種が一堂に会し懇親を深めることを目的に那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会にて計画し開催した。今回で 5 回目となり、会を重ねるごとに参加者が増え大盛況であった。

(6) 平成 30 年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業『市民フォーラム』

日 時：平成 31 年 2 月 3 日 (日) 午後 2 時～午後 4 時

場 所：琉球新報ホール

テーマ：『人生会議 ～よりよく生ききるために～』

司 会：フリーアナウンサー 多喜ひろみ 氏

第 1 部：創作劇：『ウンジュが情け』

第 2 部：基調講演：『よりよく豊かに生きるために最期について考える』

～自分らしく生ききるための倫理学～

講 師：琉球大学医学部附属病院 臨床倫理士 (倫理コンサルタント) 金城 隆展 氏

第 3 部：対談：『人生会議について』

那覇市在宅医療介護連携支援ネットワーク協議会委員、金城隆展氏、多喜ひろみ氏

参加者：約 460 名

(7) 読売巨人軍 春季沖縄キャンプ 2019 in 那覇

日 時：平成 31 年 2 月 23 日 (土)・24 日 (日) 午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分

場 所：沖縄セルラースタジアム那覇

テーマ：『お家が一番！ ～知って得する医療と介護情報～』

主 催：那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇

共 催：一般社団法人 那覇市医師会、地方独立行政法人 那覇市立病院、

社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

来場者：519 名

中学生から小さなお子さんを連れだご夫婦、高齢者まで多様な年齢層の皆様が訪れ、今回のブース出展の目的であった「医療と介護が必要になる前から、必要となったときに備え、どのような選択肢があり、地域のどこに相談したら良いのか、住民自身が在宅医療の必要性を理解すること」が周知できたものと手応えを感じた。

(8) 認定審査会への委員派遣について

平成 12 年 4 月より「介護保険制度」が開始したのを受けて、会員の協力により「那覇市」と「南部広域」の 2 つの介護認定審査会に委員を派遣している。ご多忙にも関わらず出務いただいている先生方に深く感謝申し上げます。

【那覇市介護認定審査会】 任期：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 (10 名)

佐久本 哲男・金城 幸博・山代 寛・門馬 康二・国吉 純郎・玉城 清嗣・新垣 安男・

金井 透・上間 一・砂川 憲政

【南部広域介護認定審査会】 任期：平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月 (1 名)

国吉 和秀

(9) 障害者自立支援法に基づく障害程度区分認定審査会の審査医派遣について

平成 18 年 4 月より「障害者自立支援法」が施行され、同制度発足に伴い「那覇市障害者介護給付費等審査会」が設立された。平成 30 年度は、3 名の先生方に審査医としてご協力いただいていることに深く感謝申し上げます。

山根 邦夫・国吉 勲・国吉 和秀

- (10) 那覇市社会福祉審議会障害者福祉専門分科会審査部会の委員及び嘱託医の推薦について
那覇市より、平成 25 年度の中核市移行に伴い、身体障害者手帳の認定業務を行うことから標記審査部会（肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、心臓機能障害、じん臓機能障害、呼吸器機能障害、肝臓機能障害）の委員及び嘱託医の推薦を行ない、平成 30 年度は、7 名の先生方にご協力いただいていることに深く感謝申し上げます。
山口 健・石川 秀夫・仲地 紀之・知花 幹雄・真栄城 修二・久手堅 憲史・仲宗根 和則

5. 那覇地域産業保健センターの活動について

(1) 運営協議会の開催

第 1 回 平成 30 年 8 月 22 日（水）

- 主な議題及び検討課題：①平成 29 年度活動報告・30 年度計画
②平成 30 年 4 月～7 月期間事業実績

第 2 回 平成 31 年 2 月 27 日（水）

- 主な議題及び検討課題：①平成 30 年 4 月～1 月期間事業実績
②平成 31 年度活動計画

(2) 活動内容及び実績

○相談担当医師及び保健師の人数：(医師 2 人延べ 204 人) (保健師 4 人延べ 166 人)

○主な相談内容

①健康診断結果に基づく医師からの意見聴取

- ・労働安全衛生法に定められている健康診断で、異常の所見があった労働者に関して、その健康を保持するために必要な措置について事業主(衛生担当者)へ意見を述べる。
- 意見聴取計画 70 事業所 750 名 実績 105 事業所 1,350 名

②脳・心臓疾患リスクが高い労働者に対する保健指導

- ・労働安全衛生法に定められている健康診断の結果、「血中脂質検査」「血圧の検査」「血糖検査」「尿中の糖の検査」「心電図検査」の項目に異常の所見があった労働者に対し、医師または保健師が日常生活面での指導や健康管理に関する情報を提供した。
- 健診結果に基づく相談：訪問(医師) 計画 15 回：120 名 ・実績 21 回：176 名
特定健康相談：院内(保健師) 計画 230 回：600 名 ・実績 146 回：434 名
〃 〃 〃 訪問(保健師) 計画 22 回：160 名 ・実績 20 回：140 名

③メンタル不調の労働者に対する相談・指導

- ・メンタル不調を感じている労働者に対し、医師または保健師による相談・指導を行った。
- メンタル相談(医師) 計画 15 回：15 名 ・実績 15 回：15 名
・高ストレス者面接指導 計画 5 回：5 名 ・実績 5 回：5 名
一昨年度スタートしたストレスチェック制度における高ストレス者への面接指導を 50 人未満の事業所でも継続的に実施している。

④長時間労働者に対する面接指導

- ・時間外労働が長時間に及ぶ労働者に対し、疲労の蓄積状況の確認など医師による面接指導を行った。
- 長時間労働面接指導：院内 計画 50 回：60 名 ・実績 53 回：66 名
〃 〃 〃 訪問 計画 3 回：70 名 ・実績 3 回：50 名
長時間労働者内訳：100 時間以上 36 名 100 時間未満 80 名と 100 時間以上が大幅に減少している。
製造業は増加しているが、建設業関係と運輸業の長時間が減少している。

(3) コーディネーター活動(専従者 1 名)

○活動延日数：218 日

○主な活動内容

- ・利用申込みに対する説明 240 回
- ・相談担当医師等と事業場との連絡調整 197 件
- ・嘱託産業医紹介(相談総件数 18 件 内契約件数 14 件)
- ・久米島長時間面接指導 開催 1 回 相談者 39 名
- ・労働基準協会主催 安全衛生大会等において広報活動及び保健師による健康相談開催 3 回

※義務化された今でもストレスチェック制度をどのように進めたらよいのか解らないとの相談も 15 事業所対応した(うち 1 事業所は 50 人未満)

6.LHR 事業

平成 28 年 7 月より「LHR システムを利用した医療産業活性化の為の基盤構築と応用技術の開発」を目的に開始した 3 年間の補助事業である「沖縄県医療産業競争力強化事業補助金」の交付が平成 30 年度で終了した。

本事業では LHR システムのインターフェイス連携を開発し、株式会社エムティーアイが有するヘルスケアアプリと連携することでデータの相互利用の確認を行いより有効活用できるかの実証事業を行った。

また、集約するデータの質・価値の向上を図るため、大手病院とのデータ連携、琉球大学が進めている「沖縄バイオインフォメーションバンク」との連携をすることでデータ活用の幅を広げ、さまざまな分野で利用できる準備を進めた。

さらには、今後の事業を円滑に進めていくために「一般財団法人医療情報共有機構」を立ち上げ LHR 事業が独立して継続運用していくための業務移管を進めた。

【平成 30 年度の主な活動について】

- ①平成 29 年度で正式サービスとして稼働させた「沖縄県 LHR 向け CARADA」をさらに利用者を増やすために新 UI や機能が盛り込まれた CARADA アプリと統合し、栄養指導や利用者の拡大を図った。平成 30 年度 CARADA アプリ利用者数（実績）：517 名
- ②連携機能の充実 2（サービスソリューションの連携）
株式会社エムティーアイが有するサービスソリューションである「MY 栄養コーチ」と LHR システムを連携し、栄養士による栄養指導をスマートフォンアプリにて運用テストを実施した。
平成 30 年度の MY 栄養コーチによる栄養指導者数（実績）は 127 名であった。
- ③保険者機能の開発
保険者機能の活用については現在、久米島町で実運用を開始し町民の健康管理に利用されているが、平成 30 年度では与那国診療所および石垣市役所健康福祉センターでも連携が進み、八重山圏で LHR システムを通しての連携ができる仕組みを構築中である。
- ④大手病院とデータ連携
平成 30 年度では石垣市の「かりゆし病院」とのデータ連携を調整した。
- ⑤沖縄バイオインフォメーションバンクとの連携
琉球大学で進めている「沖縄バイオインフォメーションバンク」との連携では、LHR 利用者よりゲノム生体試料（血液サンプル）を提供していただくことを前提に、当会検査センターの施設内の受診者に LHR の参加とゲノム生体試料提供の参加同意を同時に進めた。平成 30 年度の新規ゲノム生体試料提供者数は 5,170 人となり、LHR 新規参加利用者は 5,200 人で LHR 登録総人数は約 20,000 人となった。
- ⑥一般財団法人医療情報共有機構の設立
本事業終了後の LHR の運用を見据え、「一般財団法人医療情報共有機構」を平成 30 年 9 月に設立・登記し、今後の LHR システムの自立・継続運用に向けて有識者を集め法人を設立した。

III 検査事業

1. 新管理基準書に基づく品質マネジメント体制強化

（1）品質マニュアルを適用した検査部運用の定着

- ①品質マニュアルに則った運用の定着化は完了、更に品質マニュアルを基に精度向上を目指す。
- ②検査過誤の要因分析・防止策を実践してきたことが大きな過誤防止に繋がった。今後は、ヒヤリハット事例を元に要因分析と防止策を立案することで過誤の起こさない体制を構築する。
- ③検査室単位の適正な業務量、適正人員の確保による環境整備課題については、中央検査部門で適正な人員の確保を行うと同時に、技師の補充を行うことで安定稼働に努める。

- (2) 高品質なマネジメント体制を強化する。
- ① マネージメントシステムの定着に向け社内外の定期的な研修会や会議体を介し、マネージメントシステムの構築は完了した。今後も継続的な品質監査・内部監査を実施し、高品質なマネジメント体制を維持して行く。
 - ② 自己セルフチェックを実施し、不適合部分の是正確認を行った。個人レベルの技術向上活動を推進し、個々のスキルアップを図って行く。
 - ③ 精度管理委員会を毎月開催し、各工程の不適合部分の改善について是正を行い、PDCAサイクル検証を実施、進捗状況としては業務改善に繋がった。継続的に実施して行く。

2. 人材育成の強化

- (1) 中央検査室5分野（生化学、血液、免疫、輸血、一般）のスキルアップによる技師のマルチ化は、業務を遂行するためのローテーションが実践できる程度まで育成できた。今後も継続的なスキルのマルチ化を図って行く。
- (2) 細菌検査の人材育成の見直し、早期育成・早期業務安定稼働を目指し、人員を増員したが人員の配置が遅く継続課題とする。
- (3) 学会、社内講習会・勉強会等を活用した検査スキルを高める教育研修の推進については、検査部内の勉強会を定期的実施し出来ている。外部講演会や研修会への参加を積極的かつ計画的に推進して行く。

3. 検査部運営管理

- (1) 顧客訪問活動を活発に行ったが、経営安定化までは至っていない。
- (2) 原価低減活動による効果としては、血液検査部門の機器変更、試薬購入ルート変更で効果が得られた。
- (3) 検査室単位の製造原価の見直し、分野単位の継続的な原価低減を進めているが完了まで至っていないため、継続的に実施する。
- (4) 検査部収支

分野	平成29年度	平成30年度	前年度差	前年比 (%)
生化学	105,166	107,708	2,542	102.4
血液	37,985	38,376	391	101.0
免疫・血清	90,107	91,998	1,891	102.1
尿・糞便	7,679	7,689	10	100.1
病理	23,309	15,479	-7,830	66.4
細胞診	41,740	40,350	-1,390	96.7
細菌	99,686	95,166	-4,520	95.5
特殊	147,904	156,800	8,896	106.0
他	1,114	940	-174	84.4
計	554,762	554,506	-256	100.0

4. 渉外機能の強化

- (1) 新規顧客の集荷回収時間と既存顧客の集荷回収時間の調整を行い、顧客要望に対応した集荷体制を実施している。
- (2) 各種健診事業に対する検査部の対応については、検診部と連携した活動を継続し実施している。
- (3) 新規顧客契約数は6施設であった。
- (4) IT支援室による各種システム対応が可能となり、業者調整、電子カルテのマスターメンテナンス、内部の各検査部署とシステム連携が出来ている。

IV 看護学校

平成 30 年度は、専任教員の採用が進まず 23 名体制での厳しい運営となった。教育環境整備においては、女性の心理カウンセラーと新規に契約し、男性心理カウンセラーを含め 2 名で学生の悩み相談を受ける体制を整えた。その他、情報科学室のパソコン 50 台の入れ替えを行い学習環境の整備を行った。今年度、力を入れて取り組んできた職業実践専門課程は文部科学省より認定を受けることが出来た。

また、今年度新たに「福祉住環境コーディネーター」の検定試験対策講座を当校で開講し学生と職員が受講した。従来の専任教員の資質向上、学生支援、広報活動、地域との連携においても継続して強化した。

1. 各種委員会開催状況

(1) 那覇看護専門学校運営委員会

看護学校運営委員会を 3 回開催し、学校運営に関する重要な学則および規程の変更、予算・決算等について審議した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協議事項
1	H30. 5.23 (水)	1. 平成 29 年度事業報告書 (案) について 2. 平成 29 年度決算報告 (案) について 3. 警備会社の選定について
2	H30.11.14 (水)	1. 令和元年度の教員体制について 2. 平成 30 年度予算外備品及び設備整備について 3. 台湾の友好姉妹病院および医療系大学との連携について
3	H31. 2.15 (金)	1. 平成 30 年度補正収支予算 (案) について 2. 令和元年度事業計画書 (案) について 3. 令和元年度収支予算 (案) について 4. 令和元年度の職員体制について 5. 令和 2 年度入学選抜について

(2) 入学卒業等認定委員会

入学卒業等認定委員会を 4 回開催し、学生募集、進級判定等について審議した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協議事項
1	H30. 6.27 (水)	1. 平成 30 年度入学卒業等認定委員会計画 2. 令和元年度入学者選抜試験実施計画について 3. 令和元年度入学問題作成計画について 4. 令和元年度の学生募集要項 (推薦入学試験時の注意事項) の訂正について
2	H30.10.17 (水)	1. 令和元年度推薦入学者選抜試験合否判定
3	H30.11.28 (水)	1. 令和元年度前期入学者選抜試験合否判定
4	H31. 2. 6 (水)	1. 令和元年度後期入学者選抜試験合否判定 2. 平成 30 年度卒業生の卒業判定・表彰者の選定 3. 令和元年度入学選抜試験に日程について

(3) 学校評価委員会

学校評価委員会を 2 回開催した。開催状況は次のとおりである。

	開催期日	協議事項
1	H30. 5.23 (水)	1. 平成 30 年度評価委員会計画検討
2	H31. 2.15 (金)	1. 教職員による自己点検・自己評価結果報告について 2. 研究に関する倫理審査

(4) 業務会

担当理事及び副担当理事を中心に、那覇看護専門学校運営委員会（小委員会含む）、入学卒業等認定委員会・学校評価委員会等の事前調整や、その他運営上必要な事項等の調整を毎月1回、計12回開催した。

2. 看護師の養成と資質の向上

(1) 令和元年度看護学科の入学生募集において多数の応募があった。

看護学科	1 学年定員	応募者数	受験者数	合格者数	入学者 (予定)	競争率
	120	437 (81)	417 (76)	135 (20)	124 (18)	3.09 倍

※合格者数は辞退者分も含め、繰上げ合格者は含めていません。 () 男子再掲

(2) 平成31年3月8日に平成30年度卒業式（看護学科第8期）を行い、看護学科116名の卒業生を送り出した。（看護学科（3年課程）卒業生総数：746名）

(3) 第108回看護師国家試験は113名の合格者（97.4%）であった。

3. 職員の資質の向上対策

各種研修会・講習会へ積極的に参加し、専任教員並びに事務職員の資質向上、教育の指導能力の充実に努めた。

(1) 教員研修状況は次のとおりである。

県外

年月日	研修会名	会場	参加数
H30.4.15	看護師国家試験分析レポート & 受験指導対策セミナー	福岡	1
H30.5.25 ~ H30.5.27	第14回認知症ケア専門士検定試験 受験対策講座 2018	京都	1
H30.5.30	平成30年度 日本看護学校協議会総会及び学校長会	東京	1
H30.6.23 ~ H30.6.24	日本老年看護学会 第23回学術集会	福岡	1
H30.6.2	病児・障害児のための遊びとプレバレーション・デイズ ストレッチ	大阪	1
H30.7.7 ~ H30.7.8	第14回認知症ケア専門士検定試験（第1次試験）	福岡	2
H30.8.16 ~ H30.8.17	第49回日本看護学会・看護教育・学術集会	広島	1
H30.8.23 ~ H30.8.24	日本看護学校協議会学会	鹿児島	1
H30.8.27 ~ H30.8.29	第28回 学術集会 日本看護学教育学会	神奈川	4
H30.9.7 ~ H30.9.8	学生が主体的に学ぶために精神看護学の講義・実習の構築	東京	1
H30.9.21 ~ H30.9.22	学生に興味を持たせる「教材づくり」と実習場面の「教材化」	東京	1
H30.9.14 ~ H30.9.17	思春期保健セミナーコースⅠ（総論編）	東京	1
H30.9.28	平成30年度 トラブル発生時に管理職は何をすればよいのか？	東京	1
H30.10.2 ~ H30.10.3	日本看護学校協議会 事務担当者会	東京	2
H30.10.18 ~ H30.10.19	働き方改革への対応と労務管理の実務	福岡	1
H30.11.16 ~ H30.11.17	院内講師・教育担当者のための演習・グループワークの上手な進め方	東京	1

年月日	研修会名	会場	参加数
H31.1.11 ～ H31.1.15	思春期保健セミナー コースⅢ (実践編)	千葉	1
H30.2.21	平成 30 年度日本学生支援機構奨学金業務連絡協議会	大阪	1
H31.2.22 ～ H31.2.23	学びとる力を育てる授業設計と教材の作り方	大阪	1
H31.3.8 ～ H31.3.9	今どきの学生から主体性を引き出す授業展開の工夫	東京	1
H31.3.22 ～ H31.3.23	ハーブリック作成・活用で学ぶ学習評価の見直し	東京	1
H31.3.23 ～ H31.3.24	RCA 分析の現場活用	大阪	1

県外研修 計 27

臨地研修 事前研修

年月日	研修会名	会場	参加数
H30.9.10 ～ H30.9.19	臨地研修 事前研修 平安病院	県内	1
H30.10.22 ～ H30.11.6	臨地研修 事前研修 オリブ山病院	県内	1
H30.11.12 ～ H30.11.28	臨地研修 事前研修 天久台病院	県内	1

臨地研修 事前研修 計 3

県内

年月日	研修会名	会場	参加数
H30.9.22	「子育てサポーター養成講座」	沖縄	1
H30.7.19	看護実践能力を育てる	沖縄	2
H30.7.20	平成 30 年度在宅医療・介護連携推進事業	沖縄	2
H30.8.3	小児在宅医療と訪問看護	沖縄	1
H30.8.14 ～ H30.8.15	「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」	沖縄	1
H30.8.16	実習施設研修 (介護老人保健施設おおごとと信和苑)	沖縄	2
H30.8.16	平成 30 年度 那覇市在宅医療・介護連携推進事業	沖縄	1
H30.8.28	一般病棟でも役立つ精神障がいのある対象の理解	沖縄	1
H30.9.1	妊娠・出産包括支援事業としての産後ケア	沖縄	1
H30.9.1	看護の本質 (看護実践知) ～日常の看護の魅力を再発見しよう～	沖縄	1
H30.9.7	第 3 回 専門学校図書室情報交換会	沖縄	1
H30.9.12 ～ H30.9.13	防火管理・防災管理「新規講習」	沖縄	1
H30.9.14	ミッションマネジメントと組織開発	沖縄	1
H30.10.31	平成 30 年度日本学生支援機構奨学金 業務研修会	沖縄	2
H30.10.27	新任教員研修会	沖縄	1
H30.12.6	精神障がいを持つ患者の生活をつなぐ退院支援と地域ネットワーク	沖縄	1
H31.1.18	医療安全管理者養成研修	沖縄	1

年月日	研修会名	会場	参加数
H31.1.25	医療安全管理者養成研修	沖縄	1
H31.2.3	運動指導者に必要なメンタルヘルスの考え方	沖縄	1
H31.2.8	沖縄メディカルライブラリー研究会	沖縄	1
H31.3.18	看護基礎教育における倫理教育	沖縄	18

県内研修 計 42

(2) 学会等で発表した教育研究の内容は次のとおりである。

- 1 題「A校における看護師養成3年課程卒業生の動向調査」
～卒業生の就業状況と今後の課題～
日本看護学教育学会第28回学術集会（沖縄）発表：平田勝己
- 2 題「A校における看護養成3年課程卒業生の動向調査」
～卒業生の看護実践能力の自己評価～
日本看護学教育学会第28回学術集会（沖縄）発表：根本由佳
- 3 題「小児看護学臨時実習に即した問題解決型思考と看護実践」
日本看護学教育学会第28回学術集会（沖縄）発表：恵和枝

4. 臨地実習施設との連携強化並びに外来講師確保

(1) 実習開始前の指導者説明会調整会議をはじめ、実習指導者会を定期的を開催することによって実習指導者との連携を保持し、実習施設の積極的な協力により目的を達成することが出来た。

実習施設（130施設）は次のとおりである。

科目名	実習施設名
基礎看護学実習	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 社会医療法人 友愛会 南部病院 医療法人 和の会 与那原中央病院 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 地方独立行政法人 那覇市立病院 医療法人 祥杏会 おもろまちメディカルセンター
成人看護学実習	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 地方独立行政法人 那覇市立病院 社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 社会医療法人 友愛会 南部病院 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 医療法人 和の会 与那原中央病院 医療法人 祥杏会 おもろまちメディカルセンター 医療法人 以和貴会 西崎病院 沖縄医療生活協同組合 とよみ生協病院 健診センター（13か所）

科目名	実習施設名
老年看護学実習	<p> 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 医療法人祥杏会 おもろまちメディカルセンター 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 社会医療法人 友愛会 介護老人保健施設「友愛園」 医療法人 以和貴会 介護老人保健施設「サクラビア」 医療法人 愛和会 介護老人保健施設「池田苑」 沖縄医療生活協同組合 介護老人保健施設「かりゆしの里」 医療法人 おもと会 介護老人保健施設「ぎのわんおもと園」 医療法人 天仁会 介護老人保健施設「パークヒル天久」 社会医療法人 仁愛会 介護老人保健施設「アルカディア」 社会医療法人 葦の会 介護老人保健施設「オリブ園」 医療法人 おもと会 介護老人保健施設「はまゆう」 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会「金城老人憩いの家」 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会「那覇市小緑老人福祉センター」 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会「那覇市識名老人福祉センター」 社会福祉法人 陽風会「那覇市末吉老人福祉センター」 社会福祉法人 陽風会「那覇市壺川老人福祉センター」 社会福祉法人 糸満市社会福祉協議会「糸満市社会福祉センター」 日本赤十字社沖縄県支部 日赤安謝福祉複合施設「老人憩いの家」 特定医療法人 アガペ会「宜野湾市赤道老人福祉センター」 特定医療法人 アガペ会「宜野湾市伊利原老人福祉センター」 </p>
小児看護学実習	<p> 沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 沖縄赤十字病院 社会福祉法人 沖縄肢体不自由児協会 沖縄南部療育医療センター 那覇市立保育園（5施設） 社会福祉法人保育園（8施設） </p>
母性看護学実習	<p> 医療法人 がじまるの会 糸数病院 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 沖縄赤十字病院 医療法人 社団はなの会 たから産婦人科 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 助産院（アーシャ助産院、波の上スイミングスクール、母子未来センター、マタニティスイミングスクール） 子育て支援センター （ていんさぐ、ぬくぬく、ほるとの家、フェーヌカジ、ふれんど、ぽかぽか、まかべ、柿の家ひろば、沖縄CAPセンター） </p>
精神看護学実習	<p> 社会医療法人 葦の会 オリブ山病院 医療法人 へいあん 平安病院 医療法人 天仁会 天久台病院 </p>
在宅看護論実習	<p> 沖縄医療生活協同組合 生協総合ケアセンター 訪問看護ステーション にじ 医療法人 おもと会 訪問看護ステーション おもととよみの杜 医療法人 おもと会 訪問看護ステーション かみはら 社会福祉法人 ゆうなの会 大名訪問看護ステーション 医療法人 愛和会 訪問看護ステーション 和 社会医療法人 友愛会 介護事業部 友愛会訪問看護ステーション 株式会社 訪問看護ステーション リズム 医療法人 卯の会 新垣病院 地域医療部・訪問看護課 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院 訪問看護ステーション いこい 株式会社 絆グループ きずな訪問看護ステーション 株式会社 タモト ふたば訪問看護ステーション </p>

科目名	実習施設名
在宅看護論実習	医療法人 HSR 名嘉村クリニック 浦添訪問看護ステーション伊祖 合同会社 大愛 訪問看護ステーションいのり 株式会社 ゆいんちゅ ウィル訪問看護ステーション豊見城 株式会社 さわふじ 訪問看護ステーションさわふじ 株式会社 志情 しなさき訪問看護ステーション 株式会社 K's 訪問看護ステーションひなた 医療法人 沖縄徳洲会 グループホームひめゆり 医療法人 愛和会 グループホーム さわふじ 社会福祉法人 喜寿会 グループホーム 美ら里さしき 社会福祉法人 まつみ福祉会 グループホーム こもれび 株式会社 ふれあい介護センター グループホーム ふれあい楚辺 社会福祉法人 千寿会 グループホーム 寿 有限会社 ヘルスサポート グループホーム 若狭の家 有限会社 豊 グループホーム 光風の家 社会福祉法人 トウムヌイ福祉会 障害者就労支援施設 イノー 社会福祉法人 トウムヌイ福祉会 障害者就労支援施設 エール 社会福祉法人 トウムヌイ福祉会 児童発達支援放課後等デイサービス はばたき教室 社会福祉法人 とよみ福祉会 障害者福祉サービス事業所 ひまわりファ クトリー 社会福祉法人 まつみ福祉会 ゲラジョブセンター 認定 NPO 法人 沖縄県難病相談・支援センター アンビシャス 特定非営利活動法人 ドリームサポートたんぽぽ たんぽぽ福祉作業所 NPO 法人 障がい者支援センター ぴゅあ
統合実習	沖縄医療生活協同組合 沖縄協同病院 医療法人祥杏会 おもろまちメディカルセンター 社会医療法人 仁愛会 浦添総合病院 社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院 医療法人 和の会 与那原中央病院 社会医療法人 友愛会 南部病院 医療法人 沖縄徳洲会 南部徳洲会病院

(2) 学則の教育課程に示された学内講義は、県内大学、中南部所在病院の先生方のご協力により、教育の目的を達成できた。

①専任教員（非常勤含む）23名（3,178時間）

非常勤講師 375名（4,859時間）

②特記事項

3年生においては、卒業前に現場で新人看護師の陥りやすい問題と、優先順位・報告・連絡・相談の重要性について体験学習する機会を作った。そのねらいは、基礎教育と臨床現場との乖離を少なくすること、入職後の現場への適応を支援することである。

(3) ユニフィケーションシステム

1) 臨地実習施設と学校の教育連携推進会議（平成31年3月19日開催）

参加者：8施設23名

主な内容：①平成30年度学校運営報告

②卒業生（8期生）による卒業時学校評価

③里帰りトレーニング報告

④実習施設の教育への参画

⑤平成31年度計画

⑥看護教育を取り巻く現状について

2) 非常勤講師、ティーチングアシスタント (T・A) の派遣状況

講師派遣：9 施設 44 名

TA 派遣：8 施設 133 名

連携施設：沖縄協同病院、おもろまちメディカルセンター、沖縄赤十字病院、
那覇市立病院、豊見城中央病院、南部病院、南部徳洲会病院、
与那原中央病院、浦添総合病院

5. 教育環境の整備

- (1) 図書室の整備充実の為、今年度は専門図書や学術雑誌等合わせて 347 冊の図書を購入した。
- (2) 下記の教材備品を整備した。
 - ・吸引シミュレータ“Qちゃん”10 体
 - ・産褥子宮触診モデル 2 体
 - ・妊婦体験ジャケット 5 着
 - ・「うまれる」医療機関向け DVD
 - ・バルスフィットバーティアグリーン BO-650 6 台
 - ・アニマル聴診器 2 台
 - ・自動対外式除細動器 (AED3100) 1 台
 - ・床置形ウォータークーラー RW226PD 1 台
- (3) 下記の環境整備を行った。
 - ・情報科学室のパソコン 50 台の入れ替え
 - ・駐車場の整備 (駐車スペースロープの張り替え、看板の交換、フェンスの設置)
 - ・エアコン 5 台の入れ替え
 - ・台風により破損した箇所の修繕 (防鳩ネット、煙感知器、テレビアンテナ、クーラー室外機)
- (4) 今年度新たに女性の心理カウンセラー 1 名と契約し 2 名体制で学生の相談カウンセリングを行った。月 1 回の相談カウンセリングを実施し、メールでの対応も行っている。
- (5) 学生が主体となり運営する行事として、学校祭、オープンキャンパス、開校記念スポーツ大会、1 年生親睦レクを計画し、社会性、自主性、協調性、指導力等を育てることができた。
- (6) 推薦入試 (社会人推薦は任意) 合格者は、入学までの 5 カ月の待機期間を過ごすことになるため、計 4 回のプレスクールを実施し、看護学校での学びの実際を知る機会、学習モチベーションの維持を図った。
- (7) 放送大学との以下の 3 点に関する連携協力の覚書締結を行い、1 年生 6 名と 2 年生 1 名がダブルスクールを受講した。
 - ①希望する学生が那覇看護専門学校卒業時、放送大学全科履修生として 3 年次に編入学する編入学型方式
 - ②希望する学生が那覇看護専門学校在学中に放送大学の単位を併修し、那覇看護専門学校卒業時に放送大学全科履修生として 3 年次に編入学する編入学型方式
 - ③希望する学生が那覇看護専門学校入学と同時に放送大学全科履修生として入学するダブルスクール方式
- (8) 福祉住環境コーディネーター検定試験対策講座の開講
9 月から 11 月にかけて、6 日間で述べ 7 名の講師に依頼し対策講座を行った。2 級・3 級検定試験に 95 名が受験し 42 名が合格 (合格率 44%) した。

9/30 (土)	障害の捉え方と自立支援のあり方
10/20 (土)	疾患別・障害別に見た不便・不自由と福祉住環境整備の考え方高齢者や障害者を取り巻く社会状況と福祉住環境コーディネーターの意義
10/27 (土)	福祉住環境整備の基本技術及び実践に伴う知識
11/ 3 (土)	相談援助の考え方と福祉住環境整備の進め方
11/10 (土)	生活行為別福祉住環境整備の手法
11/17 (土)	住宅生活における福祉用具の活用 模擬試験・回答解説
- (9) 職業実践専門課程の認定
平成 31 年 3 月 5 日付文部科学省告示第 42 号において職業実践専門課程として認定を受けた。

6. 対外広報・地域との連携

- (1) 2月にホームページのリニューアルを行った。また、ホームページ上に公開しているブログを今年度は71件公開した。
- (2) 3月23日(土)に県内看護専門学校合同進学説明会を開催し、337名の高校生が参加した。また、就職ガイダンスや進路ガイダンスに58回参加し、入学希望者確保のために沖縄本島内の高等学校は元より、先島地方の高校へも直接出向き案内を行った。
- (3) 今年度初めて中学校への進路説明会を2回行った。アンケートでは生徒より好評を得たので今後も積極的に行っていきたい。
- (4) 希望する学生に学校見学会を行った。今年度は13名の生徒に個別見学会を行った。また、オープンキャンパス、学校祭においても学校案内を行い、看護及び看護教育への理解と将来の職業選択の動機付けとすることが出来た。
- (5) グッジョブ☆とみぐすくわくわくワークやNAHAマラソン等27のイベントへ1、2年生を中心に延べ183名の学生がボランティア活動へ参加した。

7. 後援会及び同窓会活動の支援

- (1) 後援会より下記の費用負担を行った。
 - ① 看護師国家試験対策費用の負担
 - ② 学校祭への費用支援、入学式・宣誓式、卒業式等の学生ボランティアへの飲み物代等の負担
 - ③ 芸術鑑賞チケット代の負担
- (2) 同窓会からの学生支援
卒業生から1年生に対し特別講演「夢を持ち輝く看護専門職を目指して～先輩から後輩へのメッセージ～」と題して講和をいただいた。また、6期生の卒業1年後、7期生の卒業5カ月後の里帰りトレーニングを実施し同窓会からの支援で実習を行った。その他、学校祭時にブースを設け個別相談を受ける等、卒業生より支援を受けた。

V 各種会議状況

1. 第46回那覇市医療協議会

構成団体：那覇市・南部地区歯科医師会・那覇市医師会

日時：平成30年5月31日(木)

場所：那覇市保健所3階大会議室

担当部会	協議事項	議題提出機関
学童検診部会	①学童定期健康診断と同日に2年生と5年生の耳鼻科検診の実施について ②フッ化物洗口啓発について ③小・中学校におけるフッ化物洗口の取り組みについて	那覇市医師会 南部地区歯科医師会 健康部健康増進課
予防接種部会	①平成30年度の麻疹感染に関して ②日本脳炎ワクチン接種における自己負担分に関して ③B型肝炎定期接種に関して ④麻しん等感染症発生時の緊急接種等への協力体制について ⑤感染症対策について	那覇市医師会 那覇市医師会 那覇市医師会 健康部健康増進課 健康部健康増進課
救急医療部会	①転院搬送の現状について ②不要な救急搬送や救急受診の取り組みに関して ③救急出動の現状と転院搬送の抑制について	那覇市医師会 那覇市医師会 消防局救急課

担当部会	協議事項	議題提出機関
保健部会	①生活保護者の医療要否意見書の記入について ②在宅医療・介護推進のためのレセプトデータ提供・活用について ③介護保険の申請、調査、認定まで要する期間について ④医療・介護連携クラウドシステム（ICT）の運用について ⑤急性期病院退院後の患者さんの歯科医療提供の推進について	那覇市医師会 那覇市医師会 那覇市医師会 那覇市医師会 南部地区歯科医師会
健（検）診部会	①大腸がん検診国保無料化へのお願い ②成人期歯科健診の普及の必要性 ③2歳児歯科健診及び妊婦歯科健診の進捗状況について ④要精密検査未受診者への受診勧奨について ⑤精度管理の現状と課題について	那覇市医師会 南部地区歯科医師会 南部地区歯科医師会 健康部健康増進課 健康部健康増進課

2. 第55回九州首市医師会連絡協議会

担 当：熊本市医師会

日 時：平成31年1月19日（土）・1月20日（日）

場 所：ホテルニューオータニ佐賀

出席者：山城千秋・友利博朗・玉井 修・田名 毅・白井和美・喜納美津男・真志取浩貴
外間英之・玉城研太郎

全体討議（1月）

	テーマ及び発表者
全体討議前半	<p>テーマ：「地域医療構想調整会議の進捗状況とその周辺 ～介護医療院の動向、同時改定の影響等～」</p> <p>発表 現在各県で進められている調整会議の進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島市医師会 理 事 米盛 公治 ・福岡市医師会 副 会 長 寺坂 禮治 <p>審議案件についての具体的な事例と協議結果等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮崎市群医師会 会 長 川名 隆司 ・大分市医師会 副 会 長 植山 茂宏 ・長崎市医師会 副 会 長 松元 定次 ・福岡市医師会 常任理事 松浦 弘 ・佐賀市医師会 理 事 枝國 源一郎 ・熊本市医師会 理 事 田嶋 哲
全体討議後半	<p>テーマ：「地域医療構想調整会議の進捗状況とその周辺 ～介護医療院の動向、同時改定の影響等～」</p> <p>シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下関市医師会 会 長 木下 毅 ・宮崎市郡医師会 会 長 川名 隆司 ・那覇市医師会 会 長 山城 千秋 ・大分市医師会 副 会 長 植山 茂宏 ・長崎市医師会 副 会 長 松元 定次 ・鹿児島市医師会 理 事 米盛 公治 ・福岡市医師会 常任理事 松浦 弘 ・佐賀市医師会 理 事 枝國 源一郎 ・熊本市医師会 理 事 田嶋 哲 ・下関市保健部長 福本 怜 ・宮崎県福祉保健部医療業務課長 久保 昌広 ・沖縄県福祉保健部医療政策課主幹 座波 航 ・鹿児島地域振興局保健福祉環境部長兼伊集院保健所長 宇田 英典 ・福岡県保健医療介護部医療指導課長 大群 拓也 ・佐賀中部保健福祉事務所保健監 古賀 義孝 ・熊本県健康福祉部健康局医療政策課主幹 江口 徹

特別講演（1月20日）

【特別講演】 「日本医師会の医療政策」 日本医師会 会長 横倉義武 先生	【文化講演】 「熊本城復旧の進捗と課題」 熊本市経済観光局 熊本城総合事務所 熊本城調査研究センター 副所長 網田龍生 氏
--	---

3. 第60回地区医師会連絡協議会（担当 南部地区医師会）

日 時：平成30年10月27日（土） 17：30 受付開始 18：00 開会

場 所：ロワジュールホテル那覇

次 第

- (1) 開会の辞・・・・・・・・・・南部地区医師会副会長 照屋 勉
- (2) 担当地区医師会長挨拶・・・・・・・・南部地区医師会会長 安里良盛
- (3) 協議題
 - ① 「麻しん発生における医師会側の対策対応の総括について」
・・・・・・・・・・那覇市医師会
 - ② 「在宅医療・介護連携推進事業における各地区医師会の活動状況について」
・・・・・・・・・・南部地区医師会
- (4) 沖縄県医師会長挨拶及びコメント
・・・・・・・・・・沖縄県医師会会長 安里哲好
- (5) 次回担当地区医師会長挨拶・・・・那覇市医師会会長 山城千秋
- (6) 閉会の辞・・・・・・・・・・南部地区医師会副会長 湧上民雄

『親睦ゴルフコンペ』

日 時：平成30年10月28日（日）

場 所：パームヒルズゴルフリゾート

理事会及び評議員会記録（平成30年度）

理 事 会	
<p style="text-align: center;">第1回理事会 〔平成30年4月13日（金）〕</p> <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員動向 2. 第46回那覇市医療協議会協議題について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県医師会報告 (1) 第43・44. 1・2回理事会報告 2. 第10回生活習慣病検診センター運営委員会 3. 「ラジオ番組」にて「自殺対策」を訴える企画について 4. 学術・生涯教育講演会 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 沖縄内科学学術研究振興会「学術講演会」への協力について 4. 第30回チャリティーゴルフ大会のご協力について 5. 京都大学 iPS 山中所長シンポジウムについて 6. 平成30年度第1回インバウンド対応医療受入態勢整備協議会の開催について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県医師会報告 (1) 第4・5・6回 理事会報告 2. 第8回 広報委員会 3. 平成30年度 学童定期健康診断前講習会 4. 第14回 病診連携懇親会 5. 第1回 那覇看護専門学校運営委員会 6. 第1回 看護学校評価委員会
<p style="text-align: center;">第2回理事会 〔平成30年4月27日（金）〕</p> <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員動向（会費減免に係る確認事項） 2. 平成29年度 事業報告書・決算書作成及び定期総会までの日程表（案） ・役員・監事・評議員・医師連盟執行委員一覧表 3. 第41回「チャリティー生け花展」後援のお願い 4. 琉球新報 新本社ビル落成記念別刷り広告について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県医師会報告 (1) 第3回 理事会報告 2. 第18回チャリティー写真展実行委員会 	<p>【懇談事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 那覇市医師会ニュースの位置づけについて <p>【看護学校】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 那覇市医師会看護専門学校へ那覇市からの補助金の打ち切りについて
<p style="text-align: center;">第3回理事会 〔平成30年5月25日（金）〕</p> <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. COPD 試験の内容について 2. 会員動向 	<p style="text-align: center;">第4回理事会 〔平成30年6月8日（金）〕</p> <p>【協議事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員動向 2. 「バリアフリーダイビングフェスタ2018」後援依頼 3. 抗菌薬適正使用啓発活動ポスター掲示のお願い 4. 平成29年度 事業報告について <p>【報告事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県医師会報告 (1) 第7回・8回 理事会報告

理 事 会

2. 第10回 生活習慣病検診センター運営委員会
3. 第1回 在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会
4. 学童定期健康診断について

4. 第60回地区医師会連絡協議会の協議題について

【報告事項】

1. 第1回入学卒業等認定委員会県医師会報告

第5回理事会

〔平成30年6月22日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 睡眠障害カンファランスの会員案内について
3. 夏期賞与・人事考課について
4. 京都大学IPS山中所長 講演会について
5. インフルエンザ指定届出機関(患者定点)の推薦について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第9回・10回 理事会報告
2. 第3回・4回 学術・生涯教育講演会（協議事項有り）
3. 第1回 糖尿病講演会
4. 第1回 かかりつけ医等心の健康対応力向上研修企画委員会
5. 第40回 那覇市在宅療養支援診療所連絡会
6. 第2回 大症例検討会

第6回理事会

〔平成30年6月25日（月）〕

【協議事項】

1. 会長、副会長、常任理事の選出

第7回理事会

〔平成30年7月13日（金）〕

1. 当選証書の授与

【協議事項】

1. 会員動向
2. 理事者の担当業務分担について
3. 夏期賞与について

第8回理事会

〔平成30年7月27日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向について
2. 評議員会での質問について
①会員動向について、②日医FAX等について
3. 第60回地区医師会連絡協議会の協議題について
4. 沖縄県医師会各種委員会委員の推薦について
5. 那覇市への要望について
(特定健診と認知症健診の組み入れについて)
6. 第55回九州首市医師会連絡協議会について（第1報）
7. 九州首市医師会連絡協議会「災害時相互支援に関する協定書」に基づく訓練実施に関するアンケート等について
8. 那覇市予防接種健康被害調査委員の推薦について
9. 麻しん流行における取り組み・地域連携等に関するアンケートへの協力について
10. 「二つの命を守るプロジェクト 親と子の命を守る、沖縄県妊娠期がん診療ネットワークのキセキ」シンポジウムの後援について
11. グラクソ・スミスクライン株式会社との「包括的共同研究に関する契約」および「COPD試験における個別契約」について
12. アンケート調査のお願い

【報告事項】

1. 県医師会報告

理 事 会

- (1) 第11回・12回・13回・14回・15回
理事会報告
- 第4回学術生涯教育講演会
- 第1回南部保健所管内健康危機管理対
策連絡会議
- 那覇市在宅医療・介護連携推進事業
担当理事との調整会議
- チャリティー写真展におけるPR活動
報告

第9回理事会

〔平成30年8月10日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 京都大学 iPS 山中所長 講演会 パネ
リストについて
3. 「COPD Awareness Forum in 沖縄」講
演会名義（共催）依頼について
4. 「オンライン診療」セミナー（沖縄）の
ご案内
5. 「介護職の魅力をアピールするPV」製
作について
6. こども医療費無料制度の拡充を求める
署名運動への協力のお願について
7. 那覇市国民健康保険運営協議会委員の
推薦について
8. 9月度の評議員会開催日について
9. 第55回九州首市医師会連絡協議会につ
いて（回答）
10. 平成31年度 地区医師会連絡協議会の
日程について

【報告事項】

1. 平成30年度 学童定期健診後アンケー
ト結果
2. 平成30年度 在宅医療推進の為の勉強会
3. 第1回 那覇市医師会 医療・介護連携運
営委員会
4. 第5回学術生涯教育講演会
5. 「第18回那覇市医師会チャリティー写
真展」オープニング・セレモニー（テー
プカット）、レセプション

6. 第3回 沖縄周産期ネットワーク協議
会 役員会
7. 平成30年度 沖縄周産期ネットワーク協
議会・定期総会
8. 生活保護の適正実施に係る調査へのご
協力について

【医師連盟】

1. 沖縄県知事選挙推薦候補者との政策協
定書（案）について
2. 那覇市長選挙への翁長政俊氏の推薦依
頼及び「那覇市の未来を開く市民の会
役員就任（副会長）のお願い」について

第10回理事会

〔平成30年9月14日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 第60回地区医師会連絡協議会
3. 「再生医療の展開（仮）」後援名義依頼
について
4. デンタルフェア関連健康講演会への講
師派遣ならびに講演について
5. 故翁長雄志元沖縄県知事県民葬への御
臨席について
6. いじめに関する第三者調査委員会への
委員の推薦について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第16回・17回・18回 理事会報
告
2. 第1回生活習慣病検診センター運営委
員会
3. 第1回禁煙推進委員会
4. 第1回広報委員会
5. 第1回うつ病対策強化事業（講演会）
6. 第1回那覇市在宅療養支援診療所連絡会
7. 第3回大症例検討会
8. 平成30年度 小児生活習慣病予防検診
9. 第18回 チャリティー写真展（ナイス
タイトル賞）
10. ビアパーティー in ロワジール

理 事 会

11. 平成 30 年度 第 1 回 那覇市保健所感染症対策連絡会議
12. 第 6 回学術生涯教育講演会
13. 「日医 FAX ニュース」の配布希望調査

第 11 回理事会

〔平成 30 年 9 月 28 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 第 60 回地区医師会連絡協議会
3. 学術生涯教育講演会の共催について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第 19 回・第 20 回 理事会報告
2. 第 2 回 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会
3. 「かかりつけ医」機能評価である「機能強化加算」についてアンケート調査結果
4. 第 2 回 糖尿病講演会
5. 「ラジオ番組」にて「孤独とうつ病対策」を訴える企画について
6. 事務局職員の人事異動にともなう業務変更について
7. LHR 財団化へ（一般財団法人医療情報共有機構）

第 12 回理事会

〔平成 30 年 10 月 12 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 「禁煙推進パレード」の開催及び参加のお願い
3. 学術生涯教育講演会の共催について
4. アットホーム懇親会・招待者、余興について
5. 那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会からの上程について
6. 第 55 回九州首市医師会連絡協議会（第 3 報）出席者、各種会議、協議会、全体討議、紙面協議への回答について
7. 沖縄県医師会代議員の追加選出について

8. 那覇市医師会杯 bowling 大会について
9. 11 月 23 日（金：勤労感謝の日）理事会の振替について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第 21 回理事会報告
2. 第 1 回那覇市学校保健事務連絡会
3. 第 3 回在宅医療における多職種連携研修会
4. 第 2 回那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
5. 第 3 回 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会
6. 第 7 回学術生涯教育講演会
7. 第 18 回 「チャリティー写真展（交通遺児育成基金造成）」
8. 第 56 回九州首市医師会連絡協議会の日程について（平成 31 年度）

第 13 回理事会

〔平成 30 年 10 月 26 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 第 55 回九州首市医師会連絡協議会（第 3 報）各種会議、協議会、全体討議、紙面協議への回答について
3. 那覇市国民保護協議会委員の推薦について
4. 平成 31 年度全国高等学校総合体育大会那覇市実行委員会 総務・企画専門委員会委員の推薦について
5. 那覇市社会福祉協議会理事の就任について

【報告事項】

1. 県医師会報告
第 22 回 理事会報告
2. 第 2 回生活習慣病検診センター運営委員会
3. 第 2 回那覇市在宅療養支援診療所連絡会
4. 第 4 回大症例検討会
5. 第 2 回入学卒業等認定委員会

理 事 会

6. 南部地区歯科医師会との懇談会
7. チャリティー写真展 寄附金・贈呈式
8. 健康ウォーキング大会広報物のイラストレーションについて
9. 女性部「Happy カラー講座」

第 14 回理事会

〔平成 30 年 11 月 9 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向（会費減免に係る確認事項）
2. 学術生涯教育講演会の後援について
3. 平成 30 年度 職員冬季賞与について
4. メディファックスの集荷配送をメールンクへの切替について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第 23 回 理事会報告
2. 平成 30 年度 通所介護・訪問介護ネットワークなは合同会員研修会
3. 平成 30 年度 第 1 回 那覇市実務者会議（予防接種部会）
4. 第 8 回 学術生涯教育講演会
5. 第 2 回 広報委員会
6. 第 1 回 沖縄県周産期ネットワーク協議会『緊急』役員会
7. 第 2 回 沖縄県周産期ネットワーク協議会 役員会
8. 健康ウォーキング大会広報物のイラストレーションについて（回答）
9. 九州首市医師会の「風しん対策」について

【報告事項】

1. 危険行動を起こした学生への対応・処分について

【懇談事項】

1. 歴代理事経験者との懇談会について
2. 議員団との親睦会・意見交換会へのご案内について

第 15 回理事会

〔平成 30 年 11 月 26 日（月）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 那覇市医師会病理診断センター（仮称）について

【報告事項】

1. 下地クリニックへの医業支援について

【看護学校】

1. 危険行動を起こした学生への対応・その後の経過

【懇談事項】

1. 歴代理事経験者との懇談会について

第 16 回理事会

〔平成 30 年 12 月 14 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 那覇市医師会「市民公開講座」iPS 細胞 山中教授の講演会
3. 冬季賞与について
4. 南部地区歯科医師会名簿の配布について
5. 平成 30 年度診療報酬改定の評価、及び次期（平成 32 年度）診療報酬改定の要望に対するご意見等について
6. 那覇市保健所運営協議会委員の推薦について
7. 玉元公認会計士・税理士事務所との契約更新について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第 24 回、25 回、26 回、27 回、28 回理事会報告
2. 第 2 回 那覇看護専門学校運営委員会
3. 第 3 回 入学卒業等認定委員会
4. 第 3 回・4 回 糖尿病講演会
5. 平成 30 年度 特定健診及び各がん検診（胃・大腸・肺・乳・子宮）精度管理報告会

理 事 会

6. 第4回・5回 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会
7. 平成30年度 那覇市在宅ケアネット大懇親会
8. 第4回在宅医療における多職種連携研修会
9. ワールド・カフェ（病院と在宅医療・介護との連携）
10. 第11回 国際通りトランジットモール「禁煙パレード」
11. 第36回 健康ウォーキング大会
12. 2018年アットホーム懇親会
13. 沖縄県周産期ネットワーク協議会 第26回 周産期症例検討会
14. 第55回九州首市医師会連絡協議会 航空券手配表
15. 平成31年度 第56回九州首市医師会連絡協議会の開催日程の変更

第17回理事会

〔平成31年1月11日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向（会費減免申請者に係る確認事項）
2. 第55回九州首市医師会連絡協議会 決議書
3. 平成30年度補正予算、平成31年度事業計画及び予算編成日程表（案）
4. 南部地区医師会「特別講演会」への共催及び協賛負担金の依頼について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第29回、30回、31回 理事会
2. 第1回病診連携委員会
3. 第3回那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会
4. 第3回那覇市在宅療養支援診療所連絡会
5. 第5回大症例検討会
6. 那覇市CKD病診連携事業 腎臓診療医間の意見交換会
7. 那覇市航空機事故対処部分訓練
8. 第9回 学術生涯教育講演会

9. 理事者及び医師会職員親睦ボウリング大会（3/2：土 開催）
10. 長嶺信夫先生 平成30年度公衆衛生功労者の厚生労働大臣表彰受賞
11. 真栄田篤彦先生 平成30年度沖縄県学校保健功労者表彰受賞
12. 沖縄県社会福祉協議会 社会福祉活動資金作り「芸能の夕べ」

【iPS細胞講演会 進捗報告】

1. 準備・進捗報告

第18回理事会

〔平成31年2月8日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 感染症等の危機管理に関する緊急連絡網メーリングリストの設立に関するお知らせとお願い
3. 那覇少年鑑別所視察委員会委員候補者の推薦について
4. 名義後援承認申請書（第16回日本乳癌学会九州地方会 市民公開講座）

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第32回理事会報告
2. 第6回 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会
3. 第5回 在宅医療における多職種連携研修会
4. アドバンス・ケア・プランニング研修会
5. セルフ・ネグレクトに関する研修会
6. 市民フォーラム「人生会議～よりよく生ききるために～」
7. 第3回 生活習慣病検診センター運営委員会
8. 第3回 広報委員会
9. 第4回 入学卒業等認定委員会
10. 平成30年度那覇市自殺対策関係機関連絡会議（外部会議）
11. 平成30年度沖縄県国民保護共同訓練（実働訓練）

理 事 会

12. 平成 30 年度那覇市予防接種実務者会議
13. 平成 30 年度那覇市学校保健事務連絡会
14. 平成 30 年度那覇市保健所・南部保健所
合同感染症対策連絡会議

【iPS 細胞講演会 進捗報告】

1. 準備・進捗報告

第 19 回理事会

〔平成 31 年 2 月 22 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 平成 30 年度那覇市立病院主催がんフォーラム後援のお願い
3. 平成 30 年度事業計画（案）
4. 病診連携懇親会講師への謝金報酬について
5. 「那覇市市制 100 周年記念事業実行委員会」委員への就任の内諾について（依頼）
6. 2019 年度第 47 回那覇市医療協議会の開催日について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第 33・34 回理事会報告
2. 第 7 回 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会
3. 市民フォーラム：『人生会議～よりよく生ききるために～』アンケート集計結果
4. 第 3 回 看護学校運営委員会
5. 第 5 回 糖尿病講演会
6. 第 10 回 学術生涯教育講演会
7. 読売巨人軍 春季沖縄キャンプ 2019 in 那覇へのブース出展について

【iPS 細胞講演会 進捗報告】

1. 準備・進捗報告

第 20 回理事会

〔平成 31 年 3 月 8 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. 平成 31 年度那覇地区学校保健会の理事推薦について
3. 那覇市福祉事務所嘱託医を委嘱する者の推薦について
4. 介護認定審査会委員の推薦について
5. 沖縄県医師会第 2 回地区医師会医療保険担当理事連絡協議会
6. 会員福祉イベントについて
7. 職員就業規則及び各種規程の一部改正について

【報告事項】

1. 県医師会報告
(1) 第 35 回・36 回・37 回 理事会
(2) 平成 30 年度第 1 回地域保健対策（感染症・予防接種）委員会
(3) 平成 30 年度第 1 回医療機能分化検討会議
(4) 平成 30 年度第 1 回会費検討委員会
2. 第 6 回大症例検討会
3. 介護職から医療職向け研修会
4. 読売巨人軍 春季沖縄キャンプ 2019 in 那覇アンケート
5. 第 4 回那覇市在宅療養支援診療所連絡会
6. 第 4 回那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会報告
7. 第 2 回病診連携委員会
8. 平成 30 年度第 2 回南部地区地域医療対策会議

【iPS 細胞講演会 進捗報告】

1. 準備・進捗報告

第 21 回理事会

〔平成 31 年 3 月 22 日（金）〕

【協議事項】

1. 会員動向
2. エンド・オブ・ライフコミュニケーション研修会の開催について

理 事 会

3. 内閣府 沖縄型産業中核人材育成事業
4. 高校定期健康診断について

【報告事項】

1. 県医師会報告
 - (1) 第 38 回・39 回 理事会
 - (2) 第 2 回地区医師会医療保険担当理事
連絡協議会
2. 第 11 回 学術生涯教育講演会
3. 第 8 回 那覇市医師会 医療・介護連携
運営委員会
4. 第 6 回 在宅医療における多職種連携
研修会

【iPS 細胞講演会 進捗報告】

1. 準備・進捗報告

評 議 員 会

4 月度評議員会議事録

〔平成 30 年 4 月 23 日 (月)〕

1. 会員動向

(1) 入会会員

- 1) 氏 名：尾野 敏郎(オノ トシロウ)
 生年月日：昭和 49 年 4 月 15 日
 施設名：ひまわりクリニック (H30/4
 新規開設)

施設住所：那覇市泉崎 2-8-18
 会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：精神科・心療内科
 出身校：産業医科大学医学部
 班 名：開南班

- 2) 氏 名：當間 智(トウマ サトシ)
 再入会

生年月日：昭和 48 年 9 月 24 日
 施設名：医) 祥杏会
 おもろまちメディカルセンター
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：内科・消化器内科
 出身校：琉球大学医学部
 班 名：崇元寺班

(2) 異動会員

- 1) 氏 名：稲田 隆司(イナダ タカシ)
 施設名：ひまわりクリニック
 異動理由：かいクリニック (H30/3 閉院)
 勤務先異動・会員区分変更
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
 異動月日：平成 30 年 4 月 1 日
 班 名：牧志班

- 2) 氏 名：国吉 昭英(クニヨシ ショウエイ)
 施設名：自宅会員
 異動理由：松城クリニック 退職
 異動月日：平成 30 年 4 月 1 日
 班 名：壺屋班

- 3) 氏 名：新城 愛(シンジョウ メグミ)
 施設名：沖繩協同病院
 異動理由：会員区分変更
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
 診療科目：外科
 異動月日：平成 30 年 4 月 1 日
 班 名：与儀班

- 4) 氏 名：比嘉 大(ヒガ ユタカ)
 施設名：沖繩協同病院
 異動理由：会員区分変更
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
 診療科目：内科
 異動月日：平成 30 年 4 月 1 日
 班 名：与儀班

- 5) 氏 名：與那覇 ルカ(ヨナハ ルカ)
 施設名：沖繩協同病院
 異動理由：会員区分変更
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
 診療科目：内科
 異動月日：平成 30 年 4 月 1 日
 班 名：与儀班

(3) 退会会員

- 1) 氏 名：親富祖 徹(オヤフソ テツ)
 施設名：沖繩協同病院
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
 班 名：与儀班

- 2) 氏 名：伊藤 仁人(イトウ マサト)
 施設名：沖繩協同病院
 退会理由：退職
 退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
 班 名：与儀班

- 3) 氏 名：本馬 恭子(ホンマ ヤスコ)
 施設名：那覇検疫所
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
 班 名：崇元寺班

- 4) 氏 名：柴田 良子(シバタ リョウコ)
 施設名：医) おもと会クリニック安里
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
 班 名：安里班

- 5) 氏 名：喜久村 徳進(キクムラ トクシン)
 施設名：自宅会員
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
 班 名：開南班

2. 第 9 回 生活習慣病検診センター運営委員会

3. 第 10 回 糖尿病講演会 (共催)

4. 那覇市 CKD 連携講演会

評 議 員 会

5. 那覇市・沖縄県医師会の紹介
6. 第6回 在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会
7. 「ラジオ番組」にて『自殺対策』を訴える企画について
8. 学術・生涯教育講演会
9. 健康ウォーキング大会について (3/21・水祝日) 参加者 400 名
10. 医師会ニュース「救急車への医師の同乗や搬送先病院への申し送り書の運用等について救急部会の中で確認を行う」について

5 月度評議員会 議事録

〔平成 30 年 5 月 28 日 (月)〕

1. 会員動向
 - (1) 入会会員
 - 1) 氏 名：久田 友治(クダ トモハル)
生年月日：昭和 28 年 7 月 30 日
施設名：沖縄県赤十字血液センター
会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：内科
出身校：九州大学医学部
班 名：開南班
 - 2) 氏 名：上原 英且(ウエハラ ヒデカツ)
生年月日：昭和 36 年 5 月 17 日
施設名：医) おもと会 大浜第一病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：救急科・外科
出身校：杏林大学医学部
班 名：崇元寺班
 - 3) 氏 名：我部 敦 (ガベ アツシ)
再入会
生年月日：昭和 42 年 10 月 20 日
施設名：医) おもと会 大浜第一病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：脳神経外科・外科・消化器外科
出身校：琉球大学医学部

- 班 名：崇元寺班
- 4) 氏 名：平沼 進(ヒラヌマ ススム)
生年月日：昭和 54 年 9 月 3 日
施設名：医) おもと会 大浜第一病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：循環器外科・外科
出身校：北里大学医学部
班 名：崇元寺班
- 5) 氏 名：仲宗根 卓(ナカソネ タカシ)
再入会
生年月日：昭和 56 年 4 月 22 日
施設名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：循環器内科
出身校：琉球大学医学部
班 名：与儀班
- 6) 氏 名：竹内 幸治(タケウチ コウジ)
生年月日：昭和 47 年 11 月 16 日
施設名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出身校：佐賀大学医学部
班 名：与儀班
- 7) 氏 名：小渡 大幹 (オド マサキ)
生年月日：昭和 59 年 7 月 20 日
施設名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出身校：久留米大学医学部
班 名：与儀班
- 8) 氏 名：川越 淳平(カワゴエ ジュンペイ)
生年月日：昭和 60 年 9 月 29 日
施設名：沖縄協同病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
診療科目：臨床研修医
出身校：琉球大学医学部
班 名：与儀班
- 9) 氏 名：里村 英章(サトムラ ヒデアキ)
生年月日：昭和 62 年 12 月 19 日

評 議 員 会

施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医
 出身校：日本医科大学医学部
 班 名：与儀班

10) 氏 名：松田 隆寛(マツダ タカヒロ)

生年月日：昭和 63 年 5 月 11 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医
 出身校：岩手医科大学医学部
 班 名：与儀班

11) 氏 名：上地 ひかる(ウエチ ヒカル)

生年月日：平成 4 年 4 月 6 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医
 出身校：琉球大学医学部
 班 名：与儀班

12) 氏 名：小橋川 美紀(コバシガワ ミノリ)

生年月日：平成 4 年 5 月 9 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医
 出身校：琉球大学医学部
 班 名：与儀班

13) 氏 名：大方 雄司(オオカタ ユウジ)

生年月日：平成 4 年 7 月 22 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医
 出身校：大分大学医学部
 班 名：与儀班

14) 氏 名：石田 晶子(イシダ アキコ)

生年月日：平成 5 年 2 月 9 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医

出身校：金沢医科大学医学部
 班 名：与儀班

15) 氏 名：永塚 大樹(ナガツカ タイキ)

生年月日：平成 6 年 1 月 20 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 C
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：臨床研修医
 出身校：琉球大学医学部
 班 名：与儀班

16) 氏 名：岩政 輝男(イワマサ テルオ)

生年月日：昭和 17 年 2 月 25 日
 施設名：医) 陽心会
 メディカルプラザ大道中央

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

入会月日：平成 30 年 4 月 1 日

診療科目：病理診断科

出身校：熊本大学医学部

班 名：安里班

17) 氏 名：岩島 未奈(イワシマ ミナ)

生年月日：昭和 62 年 6 月 4 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

入会月日：平成 30 年 5 月 1 日

診療科目：麻酔科

出身校：弘前大学医学部

班 名：与儀班

18) 氏 名：檜田 祐輔(カシダ ユウスケ)

生年月日：昭和 62 年 10 月 16 日
 施設名：沖縄協同病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

入会月日：平成 30 年 5 月 1 日

診療科目：内科・整形外科

出身校：福岡大学医学部

班 名：与儀班

19) 氏 名：古内 重雄(フルウチ シゲオ)

生年月日：昭和 42 年 9 月 16 日
 施設名：医) ホスピタブル
 ゆめクリニック

施設住所：那覇市赤嶺 2-3-1 101

会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①

入会月日：平成 30 年 6 月 1 日

診療科目：心療内科・精神科・内科

出身校：筑波大学医学専門学群

評 議 員 会

- 班 名：小祿班
- 20) 氏 名：島袋 洋(シマブクロ ヒロシ)
 生年月日：昭和 26 年 1 月 14 日
 施 設 名：(医) 寿仁会
 沖繩セントラル病院
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
 入会月日：平成 30 年 6 月 1 日
 診療科目：脳神経外科
 出 身 校：昭和大学医学部
 班 名：寄宮班
- (2) 異動会員
- 1) 氏 名：金城 國昭(キンジョウ クニアキ)
 施 設 名：(医) 祿寿会 小祿病院
 異動理由：会員区分変更
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
 異動月日：平成 30 年 5 月 1 日
 班 名：小祿班
- (3) 退会会員
- 1) 氏 名：與儀 喜邦(ヨギ ヨシクニ)
 施 設 名：首里協同クリニック
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 3 月 31 日
 班 名：首里・松川班
- 2) 氏 名：外間 雪野(ホカマ ユキノ)
 施 設 名：沖繩赤十字病院
 退会理由：その他
 退会月日：平成 30 年 5 月 31 日
 班 名：与儀班
2. 平成 30 年度 学童定期健康診断前講習会
 3. 第 8 回 広報委員会
 4. 第 14 回 病診連携懇親会
 5. 平成 29 年度 事業報告書・決算書作成
 及び定期総会までの日程表 (案)
 6. 第 18 回 「チャリティー写真展」の開催について

6 月度評議員会 議事録 〔平成 30 年 6 月 25 日 (月)〕

1. 会員動向
- (1) 入会会員
- 1) 氏 名：譜久原 夏(フクハラ ナツ)
 生年月日：昭和 53 年 7 月 13 日

- 施 設 名：社会福祉法人沖繩肢体不自由児協会
 沖繩南部療育医療センター
 施設住所：那覇市寄宮 2-3-1
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
 入会月日：平成 30 年 4 月 1 日
 診療科目：小児科
 出 身 校：獨協医科大学医学部
 班 名：寄宮班

(2) 異動会員

- 1) 氏 名：島袋 博之(シマブクロ ヒロユキ)
 施 設 名：(医) 十月会 島袋整形外科
 異動理由：法人化
 異動月日：平成 30 年 5 月 1 日
 班 名：安里班
- 2) 氏 名：國吉 徹(クニヨシ トオル)
 施 設 名：(医) 祿寿会 小祿病院
 異動理由：施設異動 (勤務先)
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
 異動月日：平成 30 年 6 月 1 日
 班 名：小祿班

(3) 退会会員

- 1) 氏 名：與那嶺 睦(ヨナミネ ムツミ)
 施 設 名：(医) 沖繩聖蹟会
 ライフケアクリニック那覇
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 7 月 31 日
 班 名：久茂地班
2. 第 1 回 看護専門学校運営委員会
 3. 第 1 回 看護学校評価委員会
 4. 第 10 回 生活習慣病検診センター運営委員会
 5. 第 1 回 在宅医と訪問看護師とケアマネージャーとの意見交換会

7 月度評議員会 議事録 〔平成 30 年 7 月 23 日 (月)〕

1. 会員動向
- (1) 入会会員
- 1) 氏 名：樋口 佳代子(ヒグチ カヨコ)
 生年月日：昭和 30 年 8 月 5 日
 施 設 名：沖繩協同病院

評 議 員 会

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

入会月日：平成 30 年 7 月 1 日

診療科目：病理診断科

出身校：京都大学医学部

班 名：与儀班

2) 氏 名：日暮 悠璃(ヒグレ ユウリ)

生年月日：平成 3 年 10 月 25 日

施設名：沖縄赤十字病院

会員区分：那医 B・県医 C

入会月日：平成 30 年 4 月 1 日

診療科目：呼吸器内科

出身校：琉球大学医学部

班 名：与儀班

(2) 退会会員

1) 氏 名：仲本 雅哉(ナカモト マサヤ)

施設名：沖縄赤十字病院

退会理由：その他

退会月日：平成 30 年 6 月 22 日

班 名：与儀班

2) 氏 名：稲田 隆司(イナダ タカシ)

施設名：ひまわりクリニック

退会理由：医師会の異動

退会月日：平成 30 年 6 月 30 日

班 名：牧志班

2. 第 3 回 学術・生涯教育講演会

3. 第 1 回 糖尿病講演会

4. 第 1 回 入学卒業等認定委員会

5. 第 40 回 那覇市在宅療養支援診療所連絡会

6. 第 2 回 大症例検討会

7. 8 月度評議員会の開催について

8. 新しく事務局長に「上原善政(前・看護学校事務長)」氏が就任

入会月日：平成 30 年 9 月 1 日

診療科目：産婦人科

出身校：琉球大学医学部

班 名：与儀班

(2) 異動会員

1) 氏 名：金城 治(キンジョウ オサム)

施設名：(医) おもと会 クリニック安里

異動理由：標榜科目変更

異動月日：平成 30 年 4 月 1 日

班 名：安里班

2) 氏 名：金井 孝雄(カナイ タカオ)

施設名：金井医院

異動理由：標榜科目変更

異動月日：平成 30 年 4 月 1 日

班 名：首里・松川班

3) 氏 名：上原 清昇(ウエハラ キヨノリ)

施設名：自宅会員

異動理由：上原産婦人科退職

異動月日：平成 30 年 7 月 1 日

班 名：与儀班

4) 氏 名：古謝 将宏(コジャ マサヒロ)

施設名：自宅会員

異動理由：川平病院退職・会員区分変更
(日医)

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

異動月日：平成 30 年 7 月 1 日

班 名：若狭班

5) 氏 名：大城 兼博(オオシロ カネヒロ)

施設名：自宅会員

異動理由：転居

異動月日：平成 30 年 7 月 23 日

班 名：美栄橋班

6) 氏 名：屋宜 亮兵(ヤギ リョウヘイ)

施設名：(医) 真成会 ゆずりは訪問診療所

異動理由：法人化

異動月日：平成 30 年 8 月 1 日

班 名：首里・松川班

7) 氏 名：新里 盛朗(シンザト モリアキ)

施設名：(医) 真成会

ゆずりは訪問診療所

異動理由：法人化

異動月日：平成 30 年 8 月 1 日

班 名：首里・松川班

9 月度評議員会 議事録

〔平成 30 年 10 月 1 日 (月)〕

1. 会員動向

(1) 入会会員

1) 氏 名：仲里 博恵(ナカザト ヒロエ)

生年月日：昭和 61 年 3 月 22 日

施設名：沖縄協同病院

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

評 議 員 会

8) 氏 名：金城 國昭(キンジョウ クニアキ)
 施設名：(医) 禄寿会
 介護老人保健施設 禄寿園
 異動理由：小禄病院より異動・管理者
 交代
 会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
 異動月日：平成 30 年 9 月 1 日
 班 名：小禄班

9) 氏 名：國吉 純郎(クニヨシ スミオ)
 施設名：(医) 禄寿会 小禄病院
 異動理由：介護老人保健施設 禄寿園より
 異動
 会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
 異動月日：平成 30 年 9 月 1 日
 班 名：小禄班

10) 氏 名：浦崎 貴志(ウラサキ タカシ)
 施設名：浦崎整形外科クリニック
 異動理由：標榜科目変更
 異動月日：平成 30 年 9 月 1 日
 班 名：壺屋班

(3) 退会会員

1) 氏 名：辻田 敏(ツジタ サトシ)
 施設名：辻田労働衛生コンサルタント・
 産業医事務所
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 8 月 31 日
 班 名：牧志班

2) 氏 名：花城 徹(ハナシロ トオル)
 施設名：(医) 祥杏会
 おもろまちメディカルセンター
 退会理由：退職
 退会月日：平成 30 年 8 月 31 日
 班 名：崇元寺班

2. 第 1 回うつ病対策強化事業（講演会）
3. 第 1 回広報委員会
4. 第 1 回生活習慣病検診センター運営委員会
5. 平成 30 年度 在宅医療推進の為の勉強会
6. 第 3 回大症例検討会
7. 第 1 回 那覇市医師会医療・介護連携運営委員会
8. 第 1 回那覇市在宅療養支援診療所連絡会
9. 平成 30 年度 学童定期健診後アンケート調査結果について

10. 平成 30 年度 小児生活習慣病予防検診
11. 第 1 回禁煙推進委員会
12. 第 5 回・第 6 回学術・生涯教育講演会
13. 第 18 回チャリティー写真展について
14. ビア・パーティー in ロワジュールホテル
報告
15. 平成 30 年度沖縄周産期ネットワーク協
議会・定期総会報告

10 月度評議員会 議事録

〔平成 30 年 10 月 22 日（月）〕

1. 会員動向

(1) 異動会員

1) 氏 名：平良 直樹(タイラ ナオキ)
 施設名：(医) 天仁会 天久台病院
 異動理由：標榜科目変更
 異動月日：平成 30 年 9 月 1 日
 班 名：崇元寺班

2) 氏 名：宮島 英一(ミヤジマ エイチ)
 施設名：(医) 天仁会
 クリニックおもろまち
 異動理由：標榜科目変更
 異動月日：平成 30 年 9 月 1 日
 班 名：崇元寺班

3) 氏 名：友寄 英毅(トモヨセ エイキ)
 施設名：(医) 寿仁会 クリニック絆
 異動理由：標榜科目変更・電話番号変
 更・FAX 番号変更
 異動月日：平成 30 年 9 月 1 日
 班 名：開南班

4) 氏 名：下地 忠夫(シモジ タダオ)
 施設名：(医) 医忠会
 下地内科クリニック
 異動理由：標榜科目変更
 異動月日：平成 30 年 9 月 18 日
 班 名：寄宮班

5) 氏 名：友利 俊一(トモリ シュンイチ)
 施設名：(医) 祐の会 友利産婦人科
 異動理由：施設名称変更
 異動月日：平成 30 年 10 月 1 日
 班 名：与儀班

6) 氏 名：山根 邦夫(ヤマネ クニオ)

評 議 員 会

施設名：医)城南会 松城クリニック
異動理由：施設所在地変更(移転)

住 所：那覇市字松川 442
異動月日：平成 30 年 10 月 1 日

班 名：首里・松川班

7) 氏 名：安里 瞳(アサト ヒトミ)

施設名：医)水晶会
安里眼科 おもろまち駅前

異動理由：文書送付先変更
異動月日：平成 30 年 10 月 1 日

班 名：崇元寺班

2. 「かかりつけ医」機能評価である「機能強化加算」についてアンケート調査結果
3. 第 2 回 糖尿病講演会
4. 「ラジオ番組」にて「孤独とうつ病対策」を訴える企画について
5. 第 1 回那覇市学校保健事務連絡会報告
6. 第 2 回・3 回 那覇市医師会 医療・介護連携運営委員会
7. 第 3 回在宅医療における多職種連携研修会
8. 第 2 回那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会報告
9. 第 7 回学術生涯教育講演会
10. 第 18 回 「チャリティー写真展(交通遺児育成基金造成)」報告

施設名：協同にじくクリニック
異動理由：勤務先異動(沖縄協同病院より異動) 管理者交代

会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①

異動月日：平成 30 年 11 月 1 日

班 名：与儀班

2) 氏 名：外間 英之(ホカマ ヒデユキ)

施設名：医)はなぶさ会 外間眼科医院
異動理由：法人化・メールアドレス変更

異動月日：平成 30 年 11 月 1 日

班 名：崇元寺班

(3) 退会会員

1) 氏 名：嘉陽 宗吉(カヨウ ムネヨシ)

施設名：自宅会員

退会理由：ご逝去

退会月日：平成 30 年 10 月 22 日

班 名：壺屋班

2) 氏 名：中村 紀彦(ナカムラ ノリヒコ)

施設名：特医)葦の会 オリブ山病院

退会理由：医師会の異動

退会月日：平成 30 年 10 月 31 日

班 名：首里・松川班

3) 氏 名：金城 和男(キンジョウ カズオ)

施設名：自宅会員

退会理由：その他

退会月日：平成 30 年 11 月 2 日

2. 第 2 回 生活習慣病検診センター運営委員会

3. 第 2 回那覇市在宅療養支援診療所連絡会

4. 第 4 回大症例検討会

5. 平成 30 年度 通所介護・訪問介護ネットワークなは合同会員研修会

6. 第 2 回入学卒業等認定委員会

7. 平成 30 年度 第 1 回 那覇市実務者会議(予防接種部会)

8. 第 8 回 学術生涯教育講演会

9. 第 2 回 広報委員会

10. 第 1 回・第 2 回 沖縄県周産期ネットワーク協議会 役員会

11. アットホーム懇親会

12. 12 月度評議員会について

13. 那覇市長への要望について

11 月度評議員会 議事録

〔平成 30 年 11 月 26 日(月)〕

1. 会員動向

(1) 入会会員

1) 氏 名：豊見山 義隆(トミヤマ ヨシタカ)

生年月日：昭和 28 年 1 月 24 日

施設名：医) 社団輔仁会 田崎病院

会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)

入会月日：平成 30 年 10 月 1 日

診療科目：精神科・心療内科・内科・
神経内科

出身校：金沢大学医学部

班 名：安里班

(2) 異動会員

1) 氏 名：横矢 隆宏(ヨコヤ タカヒロ)

評 議 員 会

1 月度評議員会 議事録

〔平成 31 年 1 月 28 日 (月)〕

1. 会員動向

(1) 入会会員

- 1) 氏 名：守屋 円 (モリヤ マドカ)
生年月日：昭和 34 年 12 月 15 日
施 設 名：(医) 寿仁会
 沖縄セントラル病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
入会月日：平成 30 年 11 月 1 日
診療科目：整形外科
出 身 校：関西医科大学医学部
班 名：寄宮班
- 2) 氏 名：古波蔵 匡志(コハグラ タダシ)
生年月日：昭和 50 年 5 月 30 日
施 設 名：(医) 天仁会 天久台病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 B
入会月日：平成 31 年 1 月 1 日
診療科目：精神科・神経内科
出 身 校：宮崎大学医学部
班 名：崇元寺班
- 3) 氏 名：仲田 聡子(ナカダ サトコ)
生年月日：昭和 42 年 5 月 1 日
施 設 名：(特医) 葦の会 オリブ山病院
会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)
入会月日：平成 31 年 1 月 1 日
診療科目：リハビリテーション科
出 身 校：琉球大学医学部
班 名：首里・松川班

(2) 異動会員

- 1) 氏 名：門馬 康二(モンマ コウジ)
施 設 名：(医) 翁馬会 モモクリニック
異動理由：法人化・施設所在地変更(移転)
住 所：那覇市前島 2-22-8
異動月日：平成 30 年 11 月 1 日
班 名：久茂地班

(3) 退会会員

- 1) 氏 名：下地 忠夫(シモジ タダオ)
施 設 名：(医) 医忠会
 下地内科クリニック
退会理由：ご逝去
退会月日：平成 30 年 11 月 19 日
班 名：寄宮班
- 2) 氏 名：山城 栄津子(ヤマシロ エツコ)

施 設 名：(医) 形成会

当山美容形成外科

退会理由：医師会の異動

退会月日：平成 30 年 12 月 31 日

班 名：久茂地班

2. 第 2 回 那覇看護学校運営委員会
3. 入学卒業等認定委員会
4. 第 3 回・4 回糖尿病講演会
5. 平成 30 年度特定健診及び各がん検診
(胃・大腸・肺・乳・子宮)精度管理報告会
6. 第 4・5 回 那覇市医師会 医療・介護
連携運営委員会
7. 平成 30 年度那覇市在宅ケアネット・大
懇親会
8. 第 3 回那覇市在宅療養支援診療所連絡会
9. 第 3 回那覇市在宅医療・介護連携支援
ネットワーク協議会
10. 第 5 回大症例検討会
11. 第 4 回在宅医療における多職種連携研
修会
12. ワールド・カフェ (病院と在宅医療・
介護との連携)
13. 沖縄県周産期ネットワーク協議会
第 26 回 周産期症例検討会
14. 第 1 回病診連携委員会
15. 那覇市 CKD 病診連携事業「腎臓診療医
間の意見交換会」
16. 第 11 回 国際通りトランジットモール
「禁煙パレード」
17. 第 36 回 健康ウォーキング大会
18. 2018 年アットホーム懇親会
19. 第 9 回 学術生涯教育講演会
20. 那覇市航空機事故対処総合訓練
21. 平成 30 年度補正予算、平成 31 年度事業
計画及び予算編成日程表 (案) について

2 月度評議員会 議事録

〔平成 31 年 2 月 25 日 (月)〕

1. 会員動向

(1) 入会会員

- 1) 氏 名：前原 信人(マエハラ ノブト)
生年月日：昭和 36 年 9 月 21 日

評 議 員 会

施設名：のぶ内科クリニック（H31/2
新規開設）

施設住所：那覇市長田 1-24-26
長田メディカルビル 1階

会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①

入会月日：平成 31 年 2 月 4 日

診療科目：内科・消化器内科

出身校：川崎医科大学医学部

班 名：寄宮班

2) 氏 名：畑 春香（ハタ ハルカ）

生年月日：昭和 57 年 1 月 2 日

施設名：沖縄協同病院

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

入会月日：平成 31 年 1 月 1 日

診療科目：産婦人科

出身校：福岡大学医学部

班 名：与儀班

(2) 退会会員

1) 氏 名：島袋 洋（シマブクロ ヒロシ）

施設名：(医) 寿仁会

沖縄セントラル病院

退会理由：退職

退会月日：平成 30 年 12 月 31 日

班 名：寄宮班

2. 第 6 回 那覇市医師会 医療・介護連携
運営委員会

3. 第 5 回 在宅医療における多職種連携
研修会

4. アドバンス・ケア・プランニング研修会

5. セルフ・ネグレクトに関する研修会

6. 市民フォーラム「人生会議 ～よりよ
く生ききるために～」

7. 第 3 回 生活習慣病検診センター運営
委員会

8. 第 4 回 入学卒業等認定委員会

9. 第 3 回 広報委員会

10. 平成 30 年度那覇市自殺対策関係機関連
絡会議（外部会議）

11. 平成 30 年度沖縄県国民保護共同訓練
（実働訓練 及び 図上訓練）

12. 平成 30 年度那覇市学校保健事務連絡会

13. 平成 30 年度 那覇市保健所・南部保健
所合同感染症対策連絡会議

3 月度評議員会 議事録

〔平成 31 年 3 月 25 日（月）〕

1. 会員動向

(1) 入会会員

1) 氏 名：大城 隆（オオシロ タカシ）

生年月日：昭和 17 年 5 月 6 日

施設名：自宅会員

会員区分：那医 B・県医 B・日医 A ②(B)

入会月日：平成 31 年 2 月 1 日

診療科目：整形外科

出身校：岩手医科大学医学部

班 名：崇元寺班

2) 氏 名：上原 和博（ウエハラ カズヒロ）
再入会

生年月日：昭和 23 年 5 月 13 日

施設名：協同にじくクリニック

会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①

入会月日：平成 31 年 2 月 18 日

診療科目：内科

出身校：鳥取大学医学部

班 名：与儀班

(2) 異動会員

1) 氏 名：喜久本 朝善（キクモト トモヨシ）

施設名：協同にじくクリニック

異動理由：勤務先異動（沖縄協同病院
より異動）

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

異動月日：平成 31 年 2 月 1 日

班 名：与儀班

2) 氏 名：仲田 精伸（ナカダ キヨノブ）

施設名：協同にじくクリニック

異動理由：勤務先異動（沖縄協同病院
より異動）

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

異動月日：平成 31 年 2 月 1 日

班 名：与儀班

3) 氏 名：横矢 隆宏（ヨコヤ タカヒロ）

施設名：沖縄協同病院

異動理由：勤務先異動（協同にじくリ
ニックより異動）

会員区分：那医 B・県医 B・日医 B

異動月日：平成 31 年 2 月 18 日

班 名：与儀班

評 議 員 会

- 4) 氏 名：田中 由香子(タナカ ユカコ)
 施設名：ひかりクリニック
 異動理由：勤務先異動（さくらメンタル
 クリニックより異動）
 会員区分：那医 A・県医 A・日医 A ①
 異動月日：平成 31 年 3 月 1 日
 班 名：若狭班

(3) 退会会員

- 1) 氏 名：大城 義人(オオシロ ヨシト)
 施設名：医) おもと会 大浜第一病院
 退会理由：医師会の異動
 退会月日：平成 30 年 12 月 31 日
 班 名：崇元寺班
- 2) 氏 名：金城 勤也(キンジョウ キンヤ)
 施設名：沖縄協同病院
 退会理由：退職
 退会月日：平成 30 年 12 月 31 日
 班 名：与儀班
- 3) 氏 名：比嘉 大 (ヒガ ユタカ)
 施設名：沖縄協同病院
 退会理由：退職
 退会月日：平成 30 年 12 月 31 日
 班 名：与儀班
- 4) 氏 名：八巻 文貴(ヤマキ フミタカ)
 施設名：沖縄協同病院
 退会理由：退職
 退会月日：平成 31 年 1 月 14 日
 班 名：与儀班

2. 第 3 回 看護学校運営委員会
3. 第 5 回 糖尿病講演会
4. 第 10 回 学術生涯教育講演会
5. 第 6 回 大症例検討会
6. 介護職から医療職向け研修会
7. 第 7 回 那覇市医師会 医療・介護連携運
 営委員会
8. 第 4 回 那覇市在宅療養支援診療所連絡会
9. 第 4 回 那覇市在宅医療・介護連携支援
 ネットワーク協議会報告
10. 読売巨人軍春季沖縄キャンプ 2019 in 那
 覇へのブース出展について
11. 第 2 回 病診連携委員会
12. 平成 30 年度 補正収支予算書 (案)
13. 各班の状況調査 (アンケート) の実施
 について